



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2024年11月6日

JFEホールディングス株式会社

- **業績ハイライト**
- **JFEグループ 業績の状況**
2024年度第上期決算・業績見通し
- **事業会社別 業績の状況**
2024年度業績見通し
- **配当について**
- **トピックス**

参考資料① 財務関連データ・損益分析他

参考資料② 事業環境指標他

本資料は当社の2024年度上期の業績の状況について一般に公表するために作成された資料であり、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、日本国、米国又はそれ以外の一切の法域における有価証券への投資に関する勧誘を構成するものではありません。提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

業績ハイライト

JFE

- 鉄鋼事業の需給環境は極めて厳しく、粗鋼減産の影響や海外グループ会社の収益悪化に加え、棚卸資産評価差損等により、**当期利益は1,300億円の見込み**(対前年度▲674億円、対前回公表▲750億円)。
- **中間配当50円**を取締役会で決議(前回公表通り)。
- 年間配当は、来期以降の業績動向や株主への安定的な利益還元を重視する観点から、前期実績同水準の**100円**(対前回公表▲10円)を見込む。

2024年度
上期決算

事業利益 **818億円** (対前年同期▲825億円、対前回公表▲32億円)

※棚卸資産
評価差等除き **1,348億円** (対前年同期▲305億円、対前回公表+218億円)

事業利益 **1,600億円** (対前年度▲1,382億円、対前回公表▲1,000億円)

※棚卸資産
評価差等除き **2,400億円** (対前年度▲562億円、対前回公表▲680億円)

当期利益 **1,300億円** (対前年度▲674億円、対前回公表▲750億円)

棚卸資産評価差等除き

鉄鋼事業トン当たり利益 **8千円/t** (対前回公表▲2千円/t)

単独粗鋼生産量 **2,240万t程度** (対前年度▲105万t、対前回公表▲60万t)

年間配当 **100円** (対前回公表▲10円)、**中間配当50円**(前回公表通り)

2024年度
見通し

JFEグループ 2024年度 上期決算



2024年度上期決算

JFE

➤ **当期上期事業利益は818億円**(対前回公表▲32億円)

(億円)	2023年度 上期実績	2024年度 上期見通し (前回)	2024年度 上期実績	増減 (対前年同期)	増減 (対前回公表)
売上収益	25,765	24,600	24,507	▲1,258	▲93
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	1,643 [1,653]	850 [1,130]	818 [1,348]	▲825 [▲305]	▲32 [218]
金融損益	▲89	▲100	▲98	▲9	2
セグメント利益	1,553	750	720	▲833	▲30
個別開示項目	—	▲100	▲121*	▲121	▲21
税引前利益	1,553	650	599	▲954	▲51
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲452	▲200	▲174	278	26
当期利益	1,100	450	424	▲676	▲26

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの
 セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの
 事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの

* 子会社株式(ジエコス(株))売却に関連する損失、土地売却益等

2024年度上期決算 セグメント別

JFE

(億円)	2023年度 上期実績	2024年度 上期見通し (前回)	2024年度 上期実績	増減 (対前年同期)	増減 (対前回公表)
鉄鋼事業	18,658	17,800	17,293	▲1,365	▲507
エンジニアリング事業	2,484	2,600	2,695	211	95
商社事業	7,420	7,000	7,155	▲265	155
調整額	▲2,797	▲2,800	▲2,635	162	165
売上収益	25,765	24,600	24,507	▲1,258	▲93
事業利益(A)	1,643	850	818	▲825	▲32
金融損益(B)	▲89	▲100	▲98	▲9	2
鉄鋼事業	1,228	400	345	▲883	▲55
エンジニアリング事業	87	80	89	2	9
商社事業	268	220	224	▲44	4
調整額	▲31	50	62	93	12
セグメント利益(A+B)	1,553	750	720	▲833	▲30

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

セグメント利益 ▲55億円内訳

				(億円)			
	単位	2024年度 上期見通し	2024年度 上期実績	JFEスチール	2024年度 上期見通し	2024年度 上期実績	増減 対前回公表
単独 粗鋼生産量	万t	1,130程度	1,103				
単独 出荷量	万t	990程度	966	セグメント 利益	400	345	▲55
鋼材 平均価格	千円/t	135程度	135.2	棚卸資産評 価差等除き	680	875	195
為替レート	円/ドル	156程度	153.9				

1. コスト **▲30**
 - ・ 天候影響
2. 数量・構成 **▲50**
 - ・ 粗鋼 1,130万t程度→1,103万t
3. スプレッド* **+170**
 - ・ 販価改善活動によりスプレッド改善
 - ・ 原料物価変動の販価反映時期差 (プラス影響)
4. 棚卸資産評価差等 **▲250**
 - ・ 棚卸資産評価差▲30 (±0→▲30)
 - ・ キャリーオーバー影響▲100 (▲330→▲430)
 - ・ 為替換算差▲120 (+50→▲70)
5. その他 **+105**
 - ・ 経費発生時期遅れ 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

セグメント利益 ▲883億円内訳

	単位	2023年度 上期	2024年度 上期
単独 粗鋼生産量	万t	1,216	1,103
単独 出荷量	万t	1,065	966
鋼材 平均価格	千円/t	129.3	135.2
為替レート	円/ドル	139.9	153.9

	2023年度 上期	2024年度 上期	(億円) 増減 対前年同期
JFEスチール			
セグメント 利益	1,228	345	▲883
棚卸資産評 価差等除き	1,238	875	▲363

1. コスト

+270

- ・ 構造改革効果 + 220
- ・ 操業改善他 + 50

2. 数量・構成

▲240

- ・ 粗鋼 1,216万t→1,103万t

3. スプレッド*

▲110

- ・ 海外市況影響

4. 棚卸資産評価差等

▲520

- ・ 棚卸資産評価差▲40 (+10→▲30)
- ・ キャリーオーバー影響▲260 (▲170→▲430)
- ・ 為替換算差▲220 (+150→▲70)

5. その他

▲283

- ・ Gr会社▲200

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

JFEグループ 2024年度 業績見通し



2024年度 業績見通し

JFE

- 年間見通しは、**事業利益1,600億円**(対前回▲1,000億円、対前年度▲1,382億円)、**当期利益1,300億円**(対前回▲750億円、対前年度▲674億円)を見込む。

(億円)	2023年度 実績		2024年度 見通し(前回)		2024年度 見通し(今回)		増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	上期	年間	年間	年間	上期	年間	年間	年間
売上収益	25,765	51,746	52,400	24,507	49,700	▲2,046	▲2,700	
事業利益 [棚卸資産評価差等除き]	1,643 [1,653]	2,982 [2,962]	2,600 [3,080]	818 [1,348]	1,600 [2,400]	▲1,382 [▲562]	▲1,000 [▲680]	
金融損益	▲89	▲186	▲200	▲98	▲200	▲14	0	
セグメント利益	1,553	2,796	2,400	720	1,400	▲1,396	▲1,000	
個別開示項目	-	▲112	350	▲121*	400*	512	50	
税引前利益	1,553	2,683	2,750	599	1,800	▲883	▲950	
税金費用・ 非支配持分帰属当期利益	▲452	▲709	▲700	▲174	▲500	209	200	
当期利益	1,100	1,974	2,050	424	1,300	▲674	▲750	

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

事業利益(棚卸資産評価差等除き)：連結事業利益から、鉄鋼事業の棚卸資産評価差等を除いたもの

* 子会社株式(ジェコス(株))売却に関連する損失、土地売却益等

2024年度 業績見通し セグメント別

JFE

(億円)	2023年度 実績		2024年度 見通し(前回)	2024年度 見通し(今回)		増減 (対前年度)	増減 (対前回公表)
	上期	年間	年間	上期	年間	年間	年間
	鉄鋼事業	18,658	37,160	36,600	17,293	34,600	▲2,560
エンジニアリング事業	2,484	5,399	5,800	2,695	5,800	401	0
商社事業	7,420	14,764	15,500	7,155	14,500	▲264	▲1,000
調整額	▲2,797	▲5,578	▲5,500	▲2,635	▲5,200	378	300
売上収益	25,765	51,746	52,400	24,507	49,700	▲2,046	▲2,700
事業利益(A)	1,643	2,982	2,600	818	1,600	▲1,382	▲1,000
金融損益(B)	▲89	▲186	▲200	▲98	▲200	▲14	0
鉄鋼事業	1,228	2,027	1,650	345	700	▲1,327	▲950
エンジニアリング事業	87	243	200	89	200	▲43	0
商社事業	268	489	500	224	450	▲39	▲50
調整額	▲31	35	50	62	50	15	0
セグメント利益(A+B)	1,553	2,796	2,400	720	1,400	▲1,396	▲1,000

事業利益：税引前利益から金融損益及び金額に重要性のある一過性の項目を除いたもの

セグメント利益：事業利益に金融損益を含めたもの

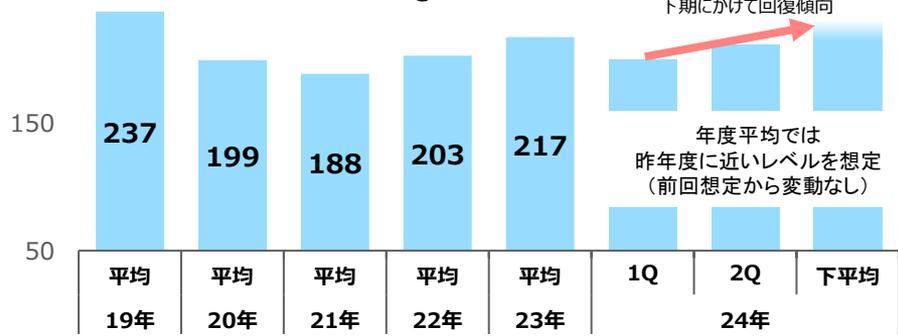
JFEスチール 2024年度 業績見通し

足元の事業環境認識（国内鋼材需要）



- 自動車分野や造船分野の需要は**相対的に堅調なもの、大きな伸びは見込みづらい。**
- 建設分野は、建設コスト上昇・人手不足の影響を背景に、**一層の需要減速感。**

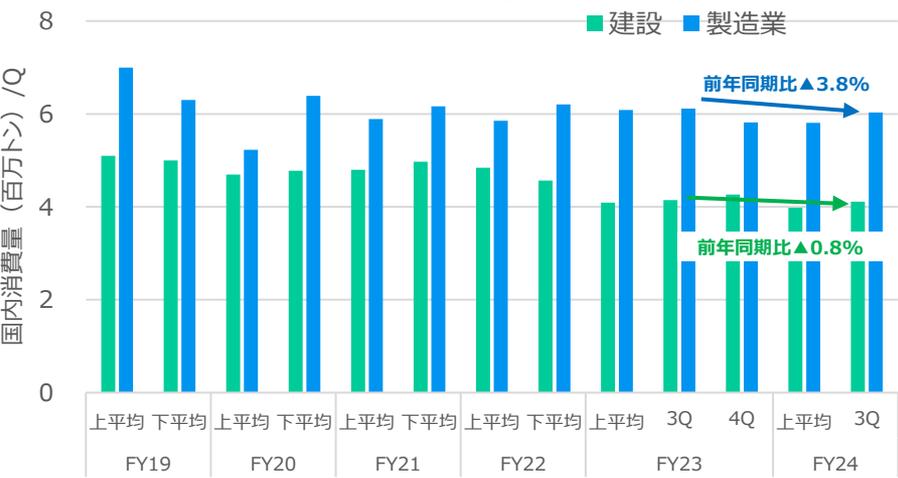
【自動車生産台数見通し/Q】 単位：万台



【分野別動向】

自動車	<ul style="list-style-type: none"> 品質・認証問題や台風の影響を受けた上期からは生産水準が回復する見通し。相対的に見れば需要は安定的なもの、回復の頭打ち感も感じられる。
造船	<ul style="list-style-type: none"> 堅調な需要を背景に国内造船各社は安定水準である約3年分の受注残を確保。 人手不足等を背景に、建造ピッチが上がらない状況が続いており、短期的に鋼材需要の更なる伸びは望みにくい。
その他製造業	<ul style="list-style-type: none"> 建設機械は、欧州・アジアでの軟化傾向に加え、昨年度まで堅調であった北米向けもピークアウト感が見られる。 産業機械は、金利上昇、インフレ継続などの先行き不透明感から引き続き低調。底打ちの観測も出ているが、目立った回復の兆しは依然見られない。
建築	<ul style="list-style-type: none"> 資材高騰や人手不足の影響により、中小案件の低迷に加え、再開発案件等大型案件でも需要の先送りが継続。 建設コストや金利の上昇等による建設投資・住宅取得マインドへの影響等もあり、減速傾向は一段と鮮明になっている。
土木	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き高水準の予算措置がなされているものの、各種コストの上昇や人手不足等の影響を受け、24年度の実質的な活動水準や鋼材需要は漸減方向と想定。

【国内普通鋼 鋼材消費見通し/Q】



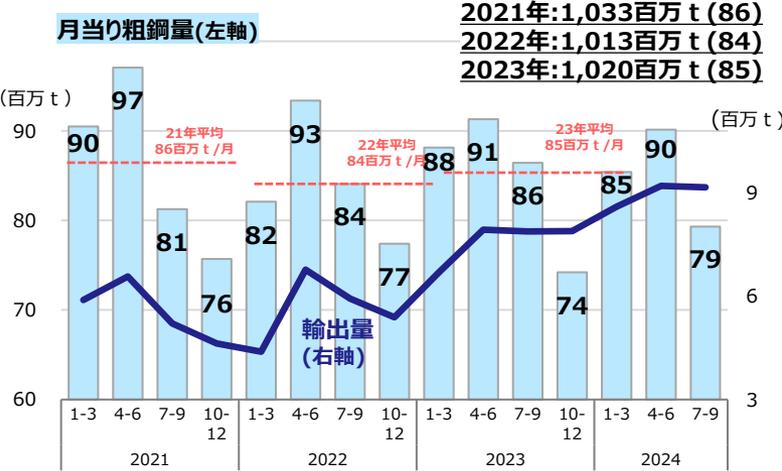
出典：経産省 10月10日発表 FY23-4Q以降は推定

足元の事業環境認識 (海外鋼材需要)

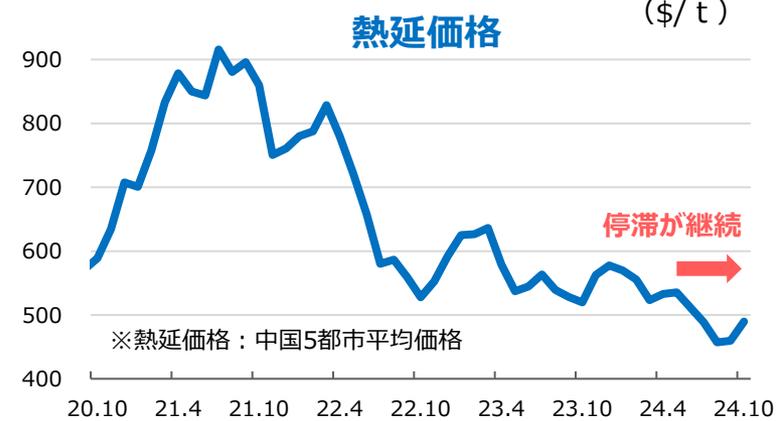


- 内需が低迷する中国における供給過剰と輸出増により、**鋼材需給の緩みや市況の停滞が継続。**
- **ASEANの自動車分野**は、高金利・ローン審査厳格化を受け**想定以上に販売減。**

【中国 粗鋼生産・鋼材輸出量】



【中国鋼材市況】



【2024年暦年実質GDP成長率見通し】

(矢印は前回見通しからの変動)

	世界平均	米国	中国	インド	ASEAN-5
参考:2023年	3.3%	2.5%	5.2%	8.2%	4.1%
24/7見通し	3.2%	2.6%	5.0%	7.0%	4.5%
24/10見通し	3.2% ➡	2.8% ➡	4.8% ➡	7.0% ➡	4.5% ➡

出典：IMF・World Economic Outlook Update 24/7公表・24/10公表

*ASEAN5：
 タイ・マレーシア・インドネシア・
 フィリピン・シンガポール

【分野別動向】

薄板	中国の内需低迷・供給過剰・輸出材増の影響により、 アジア圏を中心に市況は低迷 。中国政府の景気刺激策の浸透、明確な生産抑制策が待たれるものの、 需要適正化・市況回復には一定の時間を要するもの と想定。
自動車	世界生産は堅調さを維持する見込みだが、中国での 日系OEMのシェア低迷 は継続。 高金利・ローン審査厳格化影響を受けているASEANは、 今後緩やかに回復が見込まれるものの、足元までにおける想定以上の販売減を受けて、在庫・生産をもう一段抑制する動きが見られる。
造船	中韓造船会社は、新造受注を伸ばし、引き続き 安定した契約残を確保 。
エネルギー	世界経済の緩やかな成長や地政学的緊張状態の高まりを背景に、エネルギー 安定供給ニーズ は引き続き強く、中期的に 堅調な需要 が見込まれる。

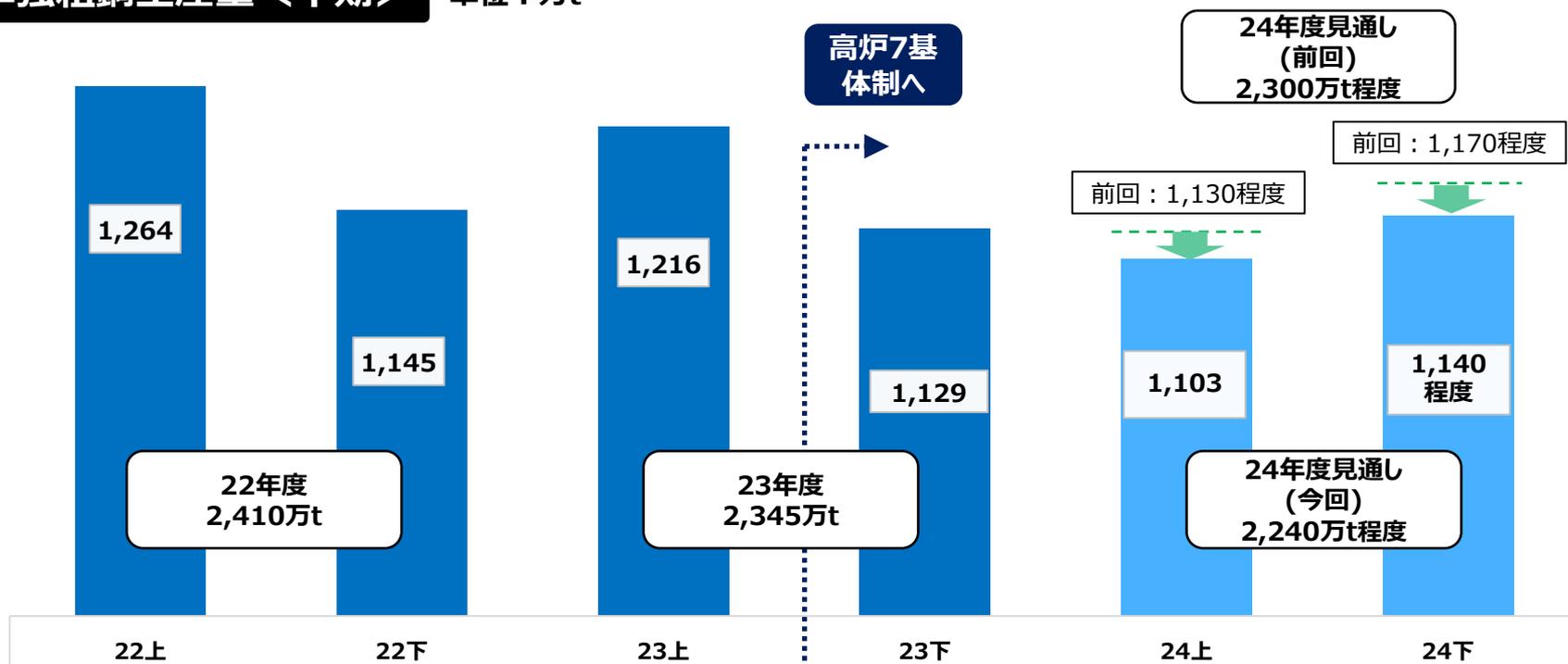
粗鋼生産量について

JFE

通期で2,240万t程度（対前回公表▲60万t程度）を見込む

- 上期は天候影響や海外市況低迷に伴う汎用品の販売減により、前回公表から粗鋼減(▲30万t程度)
- 下期は、国内自動車向け需要の緩やかな回復を想定し、対上期では粗鋼増を見込む。ただし、建材向けを中心とした想定以上の内需減、ASEANでの自動車販売低迷のさらなる長期化リスク等、全体として需給環境は厳しく、前回見通しから粗鋼生産減（▲30万t程度）

単独粗鋼生産量<半期> 単位：万t





足元の原料市況動向

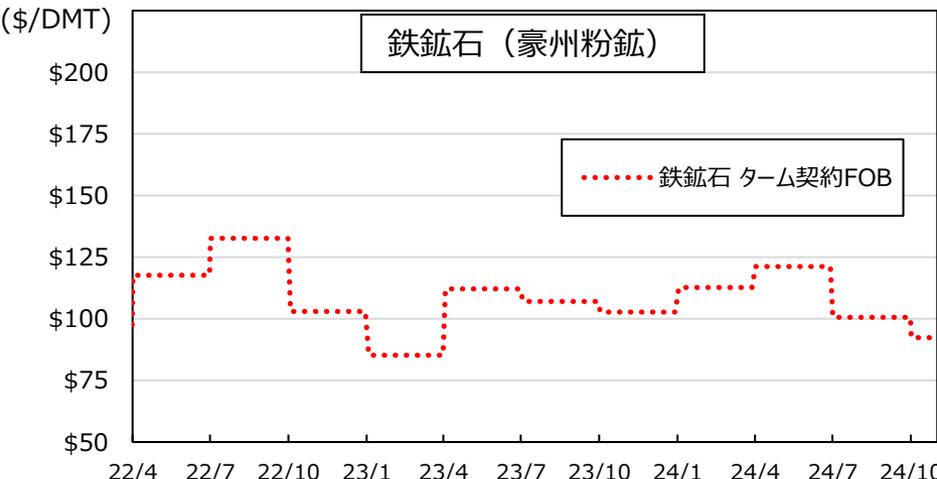
JFE

■主原料

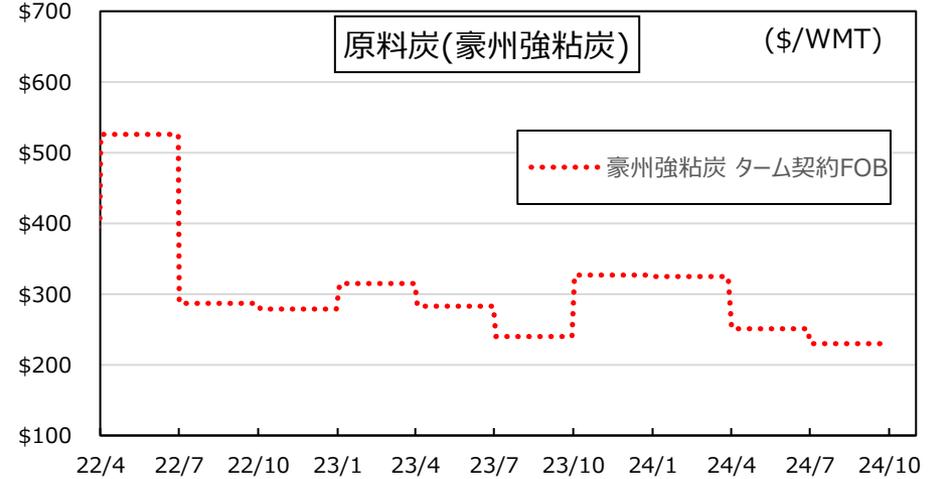
- 鉄鉱石：中国鋼材需要に依然として力強さは見られないが、中国政府による景気刺激策への期待によりセンチメントは回復しており、鉄鉱石市況は**当面足元レベルで推移**するものと想定。
- 原料炭：モンスーンシーズン明けのインドの需要増や、豪州雨期における生産影響により、下期後半にかけては**足元レベルから一定の市況上昇**を想定。

■金属

- 中国の景気・鉄鋼需要回復の遅れにより、需要は低調であり市況は低迷。



ターム契約FOB	2023年度				2024年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
\$/DMT	112	107	103	113	121	101	92



ターム契約FOB	2023年度				2024年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
\$/WMT	283	240	327	325	251	230	-

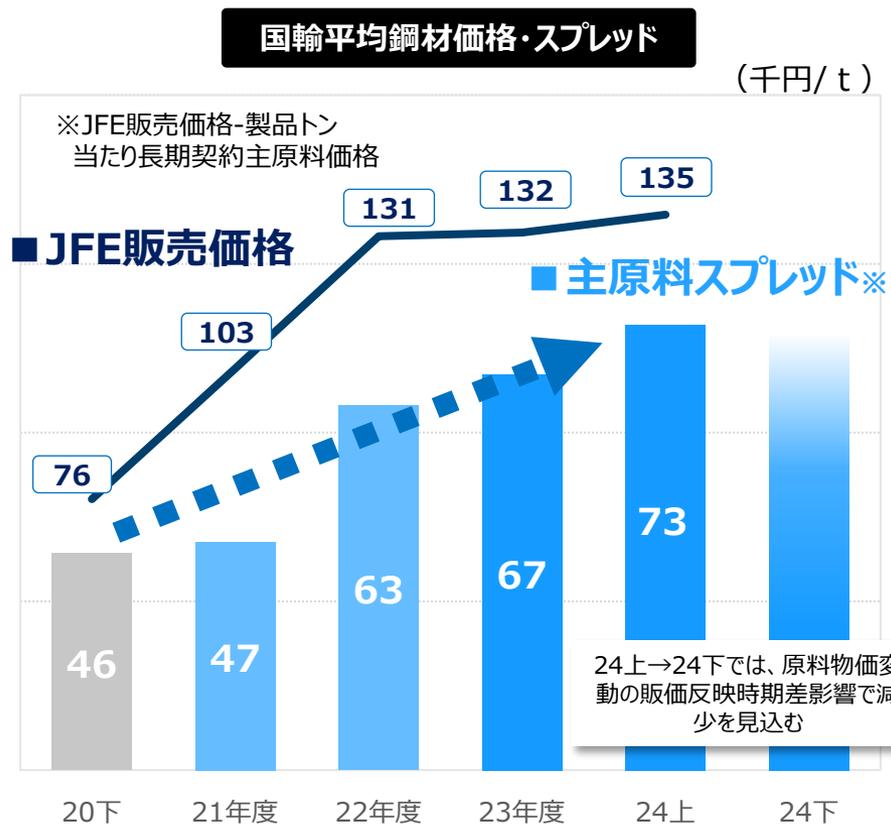
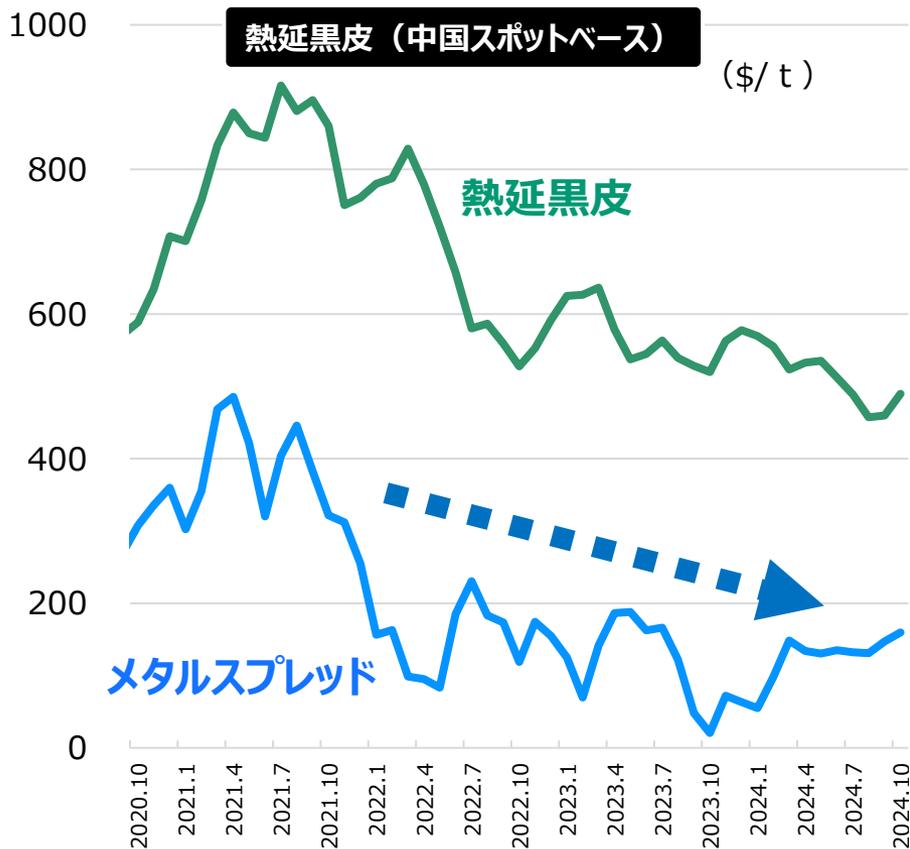
販売価格改善について



- 海外市況は低迷するも、**諸物価の価格転嫁、エキストラ見直し、価格水準の是正**を引き続き推進し、主原料スプレッド*1は23年度比拡大を見込む。

*1 JFE販売価格-製品トン当たり長期契約主原料価格
- 高騰した物流費、労務費等を含めた諸物価込みスプレッド*2も、23年度並みの水準を維持する見通し。

*2 金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等を含むスプレッド



JFEスチール 2024年度 業績見通し

JFE

	単位	2023年度					2024年度					2024年度 前回 見通し
		4-6月	7-9月	上期	下期	年間	4-6月	7-9月	上期	下期	年間	
		売上収益	億円	9,172	9,486	18,658	18,502	37,160	8,606	8,687	17,293	
セグメント利益	億円	681	547	1,228	798	2,027	315	30	345	355	700	1,650
棚卸資産 評価差等除き*	億円	591	647	1,238	768	2,007	365	510	875	625	1,500	2,130
単独 粗鋼生産量	万 t	605	611	1,216	1,129	2,345	548	555	1,103	1,140 程度	2,240 程度	2,300 程度
連結 粗鋼生産量	万 t	638	647	1,285	1,195	2,480	580	589	1,169	/		/
単独 鋼材出荷量	万 t	523	542	1,065	1,012	2,077	470	496	966			
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	44.2	44.2	44.2	41.5	42.9	40.6	44.2	42.4			
鋼材平均価格	千円/t	128.5	130.1	129.3	133.8	131.5	139.2	131.5	135.2			
為替レート	円/ドル	135.8	144.1	139.9	147.7	143.8	155.0	152.8	153.9	150 程度	152 程度	156 程度
期末為替レート	円/ドル	145.0	149.6	149.6	151.4	151.4	161.1	142.7	142.7	150 程度	150 程度	155 程度

*セグメント利益から、棚卸資産評価差、原料キャリーオーバー、為替換算差を除いた損益

2024年度 セグメント利益 対前回公表 ▲950億円内訳

JFE

- 粗鋼減産の影響や海外グループ会社の収益悪化に加え、棚卸資産評価差損等により、2024年度セグメント利益は対前回見通し▲950億円の700億円となる見込み。

(億円)

JFEスチール	2024年度 前回見通し	2024年度 今回見通し	増減 対前回
セグメント利益	1,650	700	▲950
棚卸資産評価差等除き	2,130	1,500	▲630

- 1. コスト** ▲100 ・ 天候影響、工事時期差等
- 2. 数量・構成** ▲290 ・ 粗鋼 2,300万 t 程度→2,240万 t 程度
(国内建材、輸出自動車等減)
- 3. スプレッド*** ±0
- 4. 棚卸資産評価差等** ▲320
 - ・ 棚卸資産評価差 ▲150 (▲200→▲350)
 - ・ キャリーオーバー影響 ▲100 (▲330→▲430)
 - ・ 為替換算差 ▲70 (+50→▲20)
- 5. その他** ▲240 ・ Gr会社 ▲110

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2024年度 セグメント利益 対前年度 ▲1,327億円内訳



(億円)

JFEスチール	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減 対前年度
セグメント利益	2,027	700	▲1,327
棚卸資産評価差等除き	2,007	1,500	▲507

1. コスト

+320

- ・ 構造改革効果 + 250
- ・ 操業改善他 + 70

2. 数量・構成

▲340

- ・ 粗鋼 2,345万 t → 2,240万 t 程度

3. スプレッド*

±0

4. 棚卸資産評価差等

▲820

- ・ 棚卸資産評価差 ▲400 (+50 → ▲350)
- ・ キャリーオーバー影響 ▲450 (+20 → ▲430)
- ・ 為替換算差 ▲170 (+150 → ▲20)
- ・ 構造改革費用(一過性費用) + 200 (▲200 → ±0)

5. その他

▲487

- ・ Gr会社 ▲210

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2024年度上期⇒下期 セグメント利益 + 10億円内訳

JFEスチール	2024年度 見通し			(億円)
	上期 実績	下期 見通し	年間	増減 2024上→下
セグメント利益	345	355	700	10
棚卸資産評価差等除き	875	625	1,500	▲250

1. コスト

+ 60

2. 数量・構成

+ 50

・ 粗鋼 1,103万 t → 1,140万 t 程度

3. スプレッド*

▲ 230

・ 原料物価変動の販価反映時期差
(上期プラス影響→下期マイナス影響)

4. 棚卸資産評価差等

+ 260

- ・ 棚卸資産評価差 ▲290 (▲30→▲320)
- ・ キャリーオーバー影響 +430 (▲430→±0)
- ・ 為替換算差 +120 (▲70→+50)

5. その他

▲ 130

・ 経費発生時期差 等

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

JFEエンジニアリング 2024年度 業績見通し

2024年度 業績見通し

JFE

足元の事業環境/損益概況

- 「Waste to Resource分野」、「基幹インフラ分野」で受注拡大を見込む。
- 年間セグメント利益は、200億円を見込む（前回公表どおり）。

業績見通し

(億円)	23年度実績		24年度見通し		増減 (対前年同期)		24年度見通し (前回)	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間	上期	年間
受注高 [※]	2,697	5,630	2,460	6,000	▲237	370	2,400	6,000
売上収益	2,484	5,399	2,695	5,800	211	401	2,600	5,800
セグメント利益	87	243	89	200	2	▲43	80	200

※24年度より自治体等から受託したごみ処理施設等の長期O&M契約の受注計上方法を変更。
旧計上方法で計算した場合、24年度の年間受注高見通しは5,900億円。

JFE商事 2024年度 業績見通し



2024年度 業績見通し

JFE

足元の事業環境/損益概況

- 中国経済の不透明感や国内建材市場の低調継続等の影響により、**年間セグメント利益は前回見通し比▲50億円の450億円の見通し。**

業績見通し

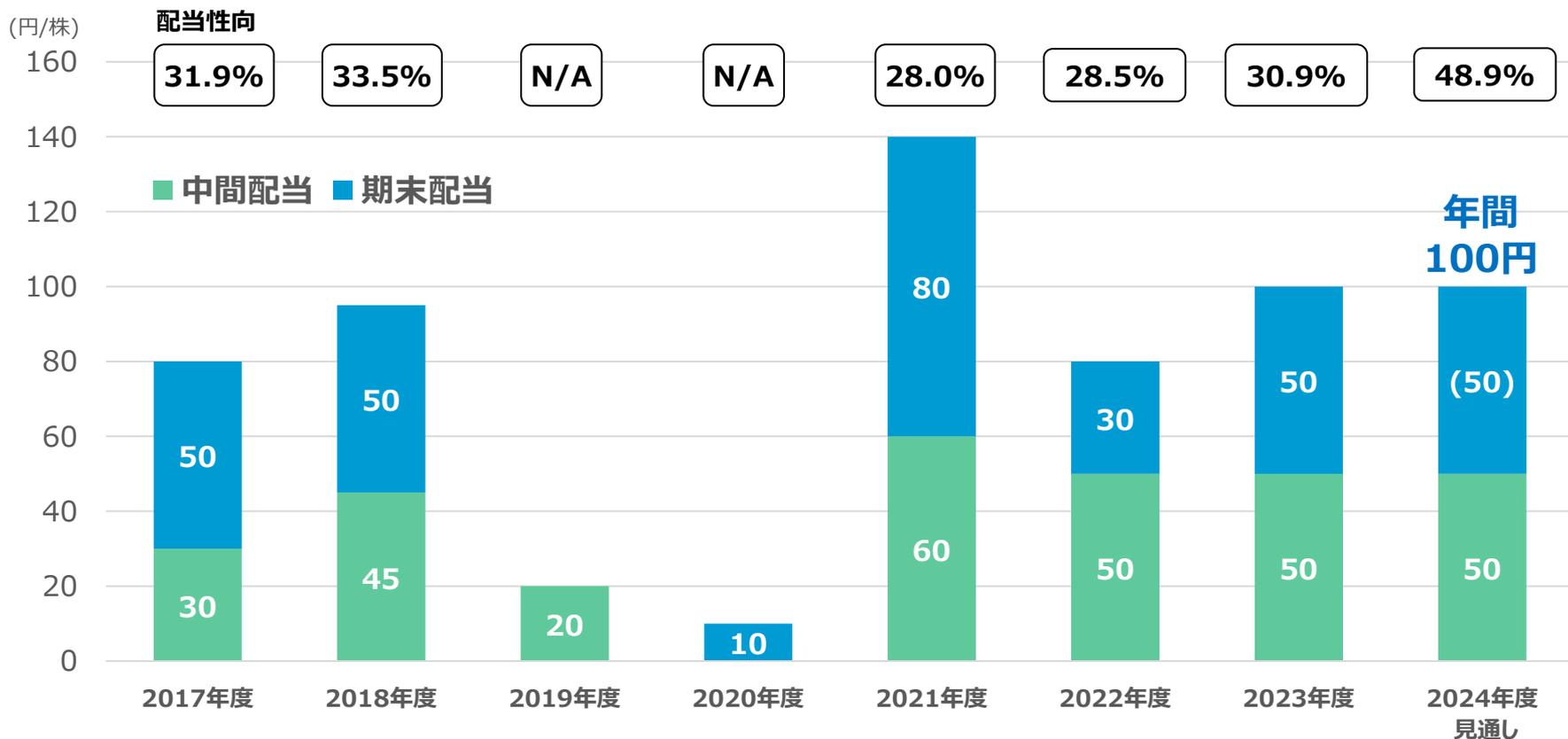
(億円)	23年度実績		24年度見通し		増減 (対前年同期)		24年度見通し (前回)	
	上期	年間	上期	年間	上期	年間	上期	年間
売上収益	7,420	14,764	7,155	14,500	▲265	▲264	7,000	15,500
セグメント利益	268	489	224	450	▲44	▲39	220	500

配当について

配当について

JFE

- 当期の中間配当については、**1株当たり50円**を支払うことを取締役会において決議いたしました。
(前回公表通り)
- 年間配当については、来期以降の業績動向や株主への安定的な利益還元を重視する観点から、前期実績同水準の**1株当たり100円の見通し**といたします**(対前回公表▲10円)**。





来期以降に向けて

JFE

- ▶ 当期減益要因の一部解消に加え、7次中期に実行した成長投資の早期収益化、量から質への転換の推進・継続、さらなるコスト削減により、収益拡大を図る。

(参考)来期以降、収益化・収益拡大する投資案件

[鉄鋼事業]

- 倉敷電磁鋼板能力増強フル寄与（24年度9月稼働）
- 豪ブラックウォーター権益10%取得（25年1~3月クロージング見込み）
- thyssenkrupp Electrical Steel India買収（25年3月頃クロージング見込み）

[エンジニアリング事業]

- モノパイル工場本格稼働（25年度下期見込み）

[商社事業]

- Studco買収フル寄与（24年5月クロージング）
- セルビア電磁鋼板加工販売会社設立（25年7月本格稼働見込み）

- ▶ 8次中期経営計画では、厳しい事業環境下でも成長を実現できる戦略を示す。

トピックス

インドにおける方向性電磁鋼板ビジネス拡大戦略



- 2024年2月インドJSWスチール社と、**インドでの方向性電磁鋼板(GO)の合併会社を設立。**
(会社名：JSW JFE Electrical Steel Private Limited (J2ES))
- 今回新たに**欧州thyssenkrupp AG社より、J2ESを通してthyssenkrupp Electrical Steel India Private Limited (tkES India)を取得する株式譲渡契約を締結。**

★ 2024年10月18日リリース

被買収会社名	thyssenkrupp Electrical Steel India Private Limited (tkES India)
所在地	インド マハラシュトラ州ナーシク市
設立	2000年
買収額	405億ルピー (約690億円(*))
持分比率	JFE50%、JSW50%
クロージング (見込)	当局の承認後クロージング予定 (半年程度)
(参考) 売上推移	2023年度：127億ルピー 2022年度：128億ルピー 2021年度：78億ルピー

(*)2024/9末レート 1.71円/INRで換算



■ 2024年2月13日リリース

会社名	JSW JFE Electrical Steel Private Limited (J2ES)
総投資額	約670M US \$
持分比率	JFE50%、JSW50%
稼働時期	2027年度フル生産(予定)



tkES India社取得の意義と当社のインドでのGO事業

JFE

- 今後も拡大が見込まれるインド市場において、**製造拠点の追加獲得により、インド国内需要を徹底的に捕捉。**
- 2つの製造拠点 + 加工事業（JFE Shoji Steel India等）、JSW 営業力等により、**インド国内におけるGO No 1 サプライヤーを目指す。**

<インドGO市場における当社の強み>

- GOマーケットでの**早期プレゼンス向上**
(従来：J2ES：27年フル生産
⇒ tkES India取得後：25年～取り込み)
- JSW製鉄所と連携した、**国内唯一の一貫GO製造メーカー**
- ボリュームゾーン～トップグレードまでの**フルラインナップ**で展開

高級無方向性電磁鋼板の製造能力増強

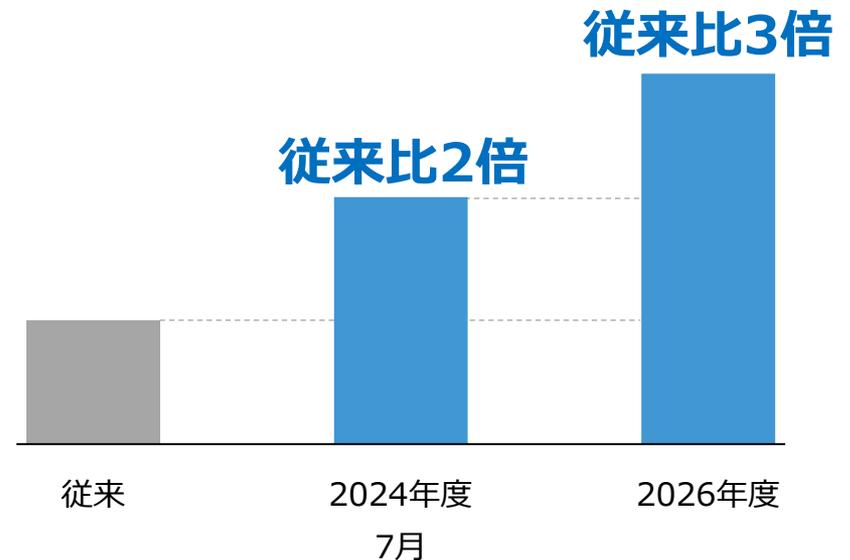
JFE

- 将来の需要増加に対応すべく、倉敷におけるxEV主機モーター用の**高級無方向性電磁鋼板の製造能力を従来比3倍に増強予定。**
- **第I期の製造能力増強工事が計画通り2024年7月に完工し、9月より工程生産を開始。**

xEV向け高級無方向性電磁鋼板の製造能力増強計画

拠点	西日本製鉄所倉敷地区
総投資額	約950億円 ➤ 第I期: 約490億円 ➤ 第II期: 約460億円
稼働時期及び製造能力	第I期: 2024年度上期 ➤ 製造能力従来比2倍 第II期: 2026年度 ➤ 製造能力従来比3倍

(生産能力)





ブラックウォーター炭鉱権益取得

JFE

▶ 豪州ホワイトハイブン社が保有する**ブラックウォーター炭鉱の権益を10%取得**。

2024/8/22リリース

■ 取得の目的

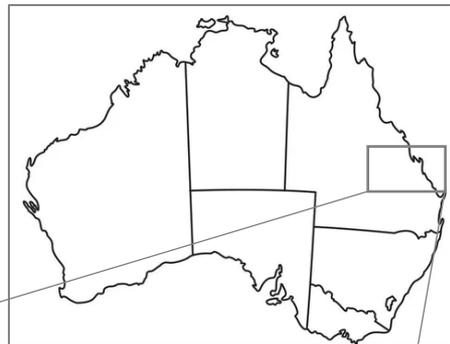
01

製鉄プロセスにおける炭素排出の
低減に資する**良質な原料炭の確保**

02

権益取得による**収益安定化**

▼ブラックウォーター炭鉱所在地



■ 出資の概要

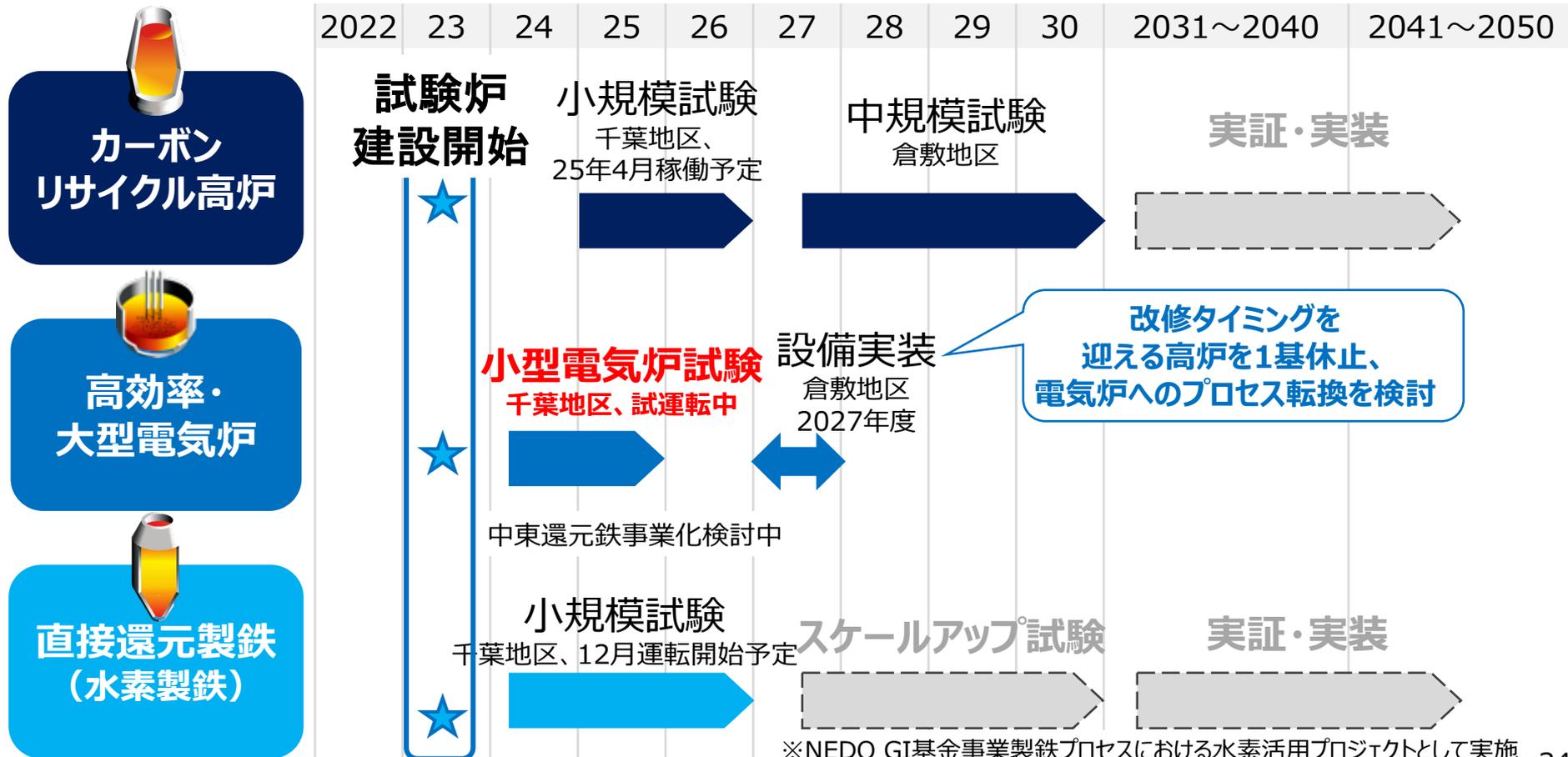
取得額	360百万米ドル (約540億円)
取得比率	10%
JV出資構成	当社 (JStAR社) 10% ホワイトハイブン社 70% 日本製鉄 20%
採掘方法	大規模露天掘り
積出港	グラッドストーン港 (炭鉱より約300km)
資源量	8億トン (30年以上の採掘が可能)



カーボンニュートラル超革新技術の開発進捗



- ▶ 千葉地区**小型電気炉の試運転開始、実装に向けた研究開発を加速**※。
- ▶ 倉敷地区への導入を検討している高効率大型電気炉について、**GX推進法に基づく「排出削減が困難な産業におけるエネルギー・製造プロセス転換支援事業(事業 I (鉄鋼))」**に応募。



※NEDO GI基金事業製鉄プロセスにおける水素活用プロジェクトとして実施

参考資料①

財務関連データ・損益分析 他

中期主要収益目標および業績概況

JFE

		7次中期 経営計画 2024年度	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 見通し
グループ 全体	連結事業利益 [鉄鋼事業 棚卸資産評価差等除き]	3,200億円	4,164億円 [2,224億円]	2,358億円 [1,628億円]	2,982億円 [2,962億円]	1,600億円 [2,400億円]
	親会社所有者帰属当期利益	2,200億円	2,880億円	1,626億円	1,974億円	1,300億円
	ROE	10%	15.7%	7.9%	8.6%	5.2%
事業会社	鉄鋼事業 セグメント利益 [棚卸資産評価差等除き]	2,300億円	3,237億円 [1,297億円]	1,468億円 [738億円]	2,027億円 [2,007億円]	700億円 [1,500億円]
	トン当たり利益* [棚卸資産評価差等除き]	10千円/t	14千円/t [6千円/t]	7千円/t [3千円/t]	10千円/t [10千円/t]	4千円/t [8千円/t]
	エンジニアリング 事業 セグメント利益	350億円	260億円	134億円	243億円	200億円
	商社事業 セグメント利益	400億円	559億円	651億円	489億円	450億円

* 鉄鋼事業のトン当たり利益（連結セグメント利益÷単体鋼材出荷数量）

連結キャッシュフロー、Debt/EBITDA倍率

JFE

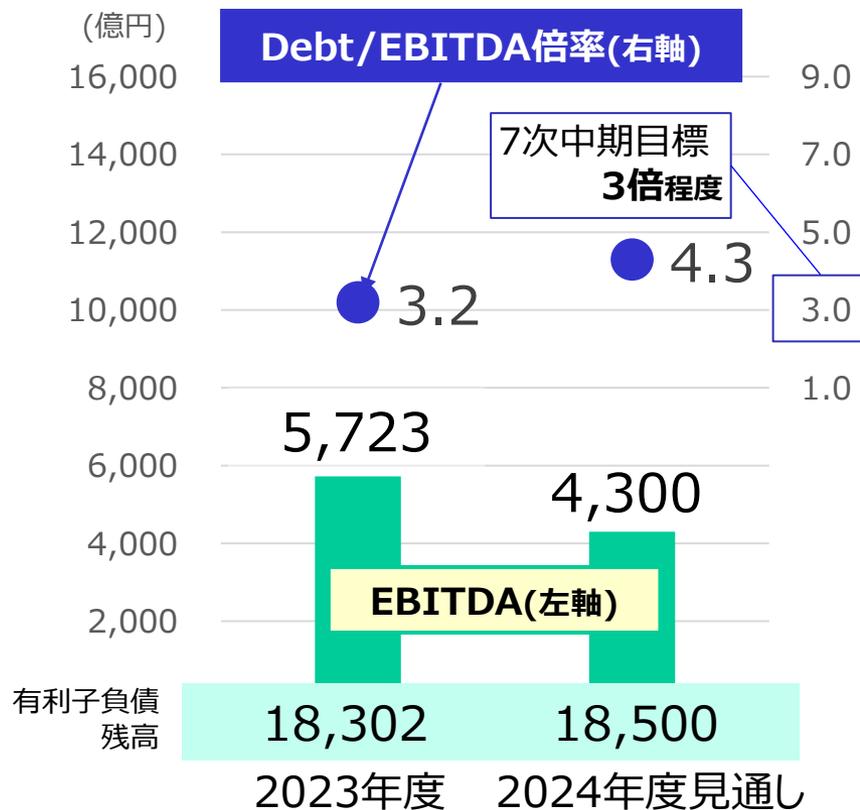
➤ 2024年度末のDebt/EBITDA倍率は、4.3倍となる見通し

連結キャッシュフロー

(億円)

Cash-in	Cash-out
当期利益 1,300	設備投資 および投融資
減価償却費 および償却費 2,700	4,900
資産圧縮 970	
現預金減 1,300	配当金支払 640
有利子負債増 198	運転収支他 928

Debt/EBITDA倍率の推移



- Debt/EBITDA倍率 = 有利子負債残高/EBITDA
- EBITDA = 事業利益 + 減価償却費及び償却費



主な財務関連データ

JFE

【日本基準】

【IFRS】

年度	'15	'16	'17	'18	年度	'18	'19	'20	'21	'22	'23
【主要財務指標】(億円、%、倍)					【主要財務指標】(億円、%、倍)						
経常利益	642	847	2,163	2,211	事業利益	2,320	378	▲129	4,164	2,358	2,982
EBITDA ※1	2,544	2,799	3,888	4,059	EBITDA ※1	4,282	2,694	2,234	6,687	5,054	5,723
ROS ※2	1.9%	2.6%	5.9%	5.6%	ROS ※2	6.0%	1.0%	▲0.4%	9.5%	4.5%	5.8%
ROE ※3	1.8%	3.7%	7.6%	8.3%	ROE ※3	8.6%	▲11.1%	▲1.3%	15.7%	7.9%	8.6%
ROA ※4	1.7%	2.3%	5.2%	5.1%	ROA ※4	5.0%	0.8%	▲0.3%	8.4%	4.4%	5.3%
借入金・社債等残高(期末)	13,793	13,754	13,309	14,499	有利子負債残高(期末)	15,238	18,143	18,061	18,494	18,629	18,302
Debt/EBITDA倍率 ※5	5.4倍	4.9倍	3.4倍	3.6倍	Debt/EBITDA倍率 ※5	3.6倍	6.7倍	8.1倍	2.8倍	3.7倍	3.2倍
D/Eレシオ ※6	56.9%	51.4%	58.1%	62.0%	D/Eレシオ ※6	68.2%	96.4%	93.2%	80.8%	67.8%	58.0%
【1株当たり情報】(円/株、%)					【1株当たり情報】(円/株、%)						
親会社株主に帰属する当期純利益	58	118	251	285	親会社の所有者に帰属する当期利益	284	▲343	▲38	500	281	323
配当金	30	30	80	95	配当金	95	20	10	140	80	100
配当性向	51.4%	25.5%	31.9%	33.3%	配当性向	33.5%	-	-	28.0%	28.5%	30.9%

【日本基準】

※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

※2 ROS: 経常利益/売上高

※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産

※5 Debt/EBITDA倍率: 借入金・社債等残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

【IFRS】

※1 EBITDA: 事業利益+減価償却費及び償却費

※2 ROS: 事業利益/売上収益

※3 ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益/親会社の所有者に帰属する持分

※4 ROA: 事業利益/資産合計

※5 Debt/EBITDA倍率: 有利子負債残高/EBITDA

※6 D/Eレシオ: 有利子負債残高/親会社の所有者に帰属する持分

但し、格付け評価上の資本性を持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

JFEスチール 四半期別データ

JFE

	単位	2022年度					2023年度					2024年度	
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	年間	4-6月	7-9月
売上収益	億円	9,326	9,863	9,869	9,753	38,811	9,172	9,486	9,156	9,346	37,160	8,606	8,687
セグメント利益	億円	930	552	218	▲232	1,468	681	547	482	317	2,027	315	30
棚卸資産 評価差等除 *	億円	▲230	552	228	188	738	591	647	492	277	2,007	365	510
単独 粗鋼生産量	万 t	643	621	548	597	2,410	605	611	562	567	2,345	548	555
連結 粗鋼生産量	万 t	677	659	581	629	2,548	638	647	595	601	2,480	580	589
単独 鋼材出荷量	万 t	554	532	525	564	2,174	523	542	508	504	2,077	470	496
鋼材輸出比率 単独・金額ベース	%	48.5	45.0	41.0	43.6	44.5	44.2	44.2	41.6	41.3	42.9	40.6	44.2
鋼材平均価格	千円 /t	126.7	136.7	136.3	124.0	130.8	128.5	130.1	132.5	135.2	131.5	139.2	131.5
為替レート	円/ドル	126.5	136.6	144.0	133.2	135.1	135.8	144.1	148.7	146.7	143.8	155.0	152.8
期末為替レート	円/ドル	136.7	144.8	132.7	133.5	133.5	145.0	149.6	141.8	151.4	151.4	161.1	142.7

*セグメント利益から、棚卸資産評価差、キャリアオーバー、為替換算差等を除いた損益

2024年度4-6月⇒7-9月

セグメント利益 ▲285億円内訳

(億円)

JFEスチール	2024年度 実績			増減 4-6月→7-9月
	4-6月実績	7-9月実績	上期実績	
セグメント利益	315	30	345	▲285
棚卸資産評価差等除き	365	510	875	145

1. コスト **▲30** ・ 天候影響
2. 数量・構成 **▲40**
3. スプレッド* **+220**
 - ・ 販価改善活動によりスプレッド改善
 - ・ 原料物価変動の販価反映時期差
4. 棚卸資産評価差等 **▲430**
 - ・ 棚卸資産評価差▲30 (±0→▲30)
 - ・ キャリーオーバー影響▲170 (▲130→▲300)
 - ・ 為替換算差▲230 (+80→▲150)
5. その他 **▲5**

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

2023年度下期 ⇒ 2024年度上期

セグメント利益 ▲453億円内訳

(億円)

JFEスチール	2023年度 下期実績	2024年度 上期実績	増減 2023下→2024上
セグメント利益	798	345	▲453
棚卸資産評価差等除き	768	875	107

1. コスト

▲10

2. 数量・構成

▲150

・粗鋼 1,129万 t → 1,103万 t

3. スプレッド*

+340

- ・販価改善活動によりスプレッド改善
- ・原料物価変動の販価反映時期差

4. 棚卸資産評価差等

▲560

- ・棚卸資産評価差 ▲70 (+40 → ▲30)
- ・キャリーオーバー影響 ▲620 (+190 → ▲430)
- ・為替換算差 ▲70 (±0 → ▲70)
- ・構造改革費用(一過性費用) +200 (▲200 → ±0)

5. その他

▲73

* 諸物価(金属、エネルギー、資材、物流、労務費、為替影響等)を含むスプレッド

JOGMEC先進的CCS¹⁾²⁾事業に係る設計作業等を受託

JFE

■ 日本海側東北地方CCS (JFEエンジニアリング)

川崎臨海コンビナート地区におけるCO₂パイプライン輸送検討業務を太平洋セメントより受注 2024/10/23リリース

(参考：本エリアの先進的CCS選定内容)

- ・排出源：全国を幅広くカバー
- ・貯留地域：日本海側東北地方他（海域帯水層）
- ・貯留量：約150~190万トン/年

■ 苫小牧地域CCS (JFEエンジニアリング)

CO₂パイプラインおよび圧入設備の基本設計業務をJAPEXより受託 2024/10/22リリース

(参考：本エリアの先進的CCS選定内容)

- ・排出源：苫小牧地域製油所、発電所
- ・貯留地域：苫小牧地域（帯水層）
- ・貯留量：約150~200万トン/年

■ サラワク沖CCS (JFEスチール) 2024/9/13リリース

- ・マレーシア サラワク州におけるCCS事業
- ・排出源：瀬戸内地域の製鉄・発電所・化学工場等の複数産業
- ・貯留地域：マレーシア サラワク州沖
- ・貯留量：約190~290万トン/年（2030年断面における同地域の想定貯留能力は500万トン/年）

■ 東新潟地域CCS (JFEエンジニアリング)

CO₂輸送パイプライン建設に係る基本設計業務をJAPEXより受注 2024/10/15リリース

(参考：本エリアの先進的CCS選定内容)

- ・排出源：新潟県の化学工場、製紙工場、発電所
- ・貯留地域：新潟県内（既存油ガス田等）
- ・貯留量：約140万トン/年

■ マレー半島沖北部CCS (JFEエンジニアリング)

CO₂輸送パイプラインに関わる蓋然性検討業務を三菱商事より受注 2024/10/31リリース

■ サラワク沖CCS (JFEエンジニアリング)

CO₂液化輸送、貯蔵・出荷設備の基本設計業務を受注 2024/11/1リリース

■ マレー半島沖北部CCS (JFEスチール) 2024/9/30リリース

- ・東京湾域を排出源とする海外CCSバリューチェーン構築の実現可能性調査
- ・排出源：東京湾（京浜地区・京葉地区）周辺の複数産業
- ・貯留地域：マレーシア マレー半島北東沖
- ・貯留量：約300万トン/年（将来的には年間6百万トン程度のCO₂回収を目指す）

1) CCS : Carbon dioxide Capture and Storage

2) 先進的CCS : (独)エネルギー・金属鉱物資源機構が、2030年までのCCS事業開始に向けた事業環境を整備するため、模範となる先進性のあるプロジェクトを支援する枠組み

グリーン鋼材JGreeX[®]受注状況

JFE

- 国内造船、建築を中心に、電力、消費財、海外向け等、**受注の裾野が拡大**。
- 産業機械向け**冷延鋼板**で初採用。

分野	国内/海外	品種	需要家	用途
造船	国内	厚板	桧垣造船・尾道造船・今治造船	ドライバルク船
	国内	厚板	常石造船	水素タグボート
建築	国内	厚板・形鋼 ・鋼管	熊谷組・住友商事	オフィスビル
	国内	鋼管	ヤシマナダ	建材流通
	国内	形鋼	苫小牧栗林運輸	倉庫
造船、建築、 海洋構造物	海外	厚板	Hock Seng Hoe	厚板流通
電力	海外	電磁鋼板	欧州変圧器メーカー	変圧器
	海外	電磁鋼板	Eaton Corporation	変圧器
事務用機器	国内	棒線	鈴豊精鋼	ECOコンテナ
缶	国内	ブリキ	モノファクトリー	缶バッジ
★産業機械	国内	冷延鋼板	ヤマハ発動機	表面実装機

★：2Qでの新規案件

グリーン鋼材市場創出に向けた取り組み

JFE

- トランジション期における低炭素技術を活用したGHG排出「削減実績量」に対して、**適切な環境価値が必要。**
- 「削減実績量」をベースとしたマスバランス方式/CoCの必要性を訴求し、**経済価値の見える化による需要促進、および国際標準化に向けた活動を、鉄連と連携して推進。**
- 脱炭素社会実現に向けて、**グリーン鋼材の普及やエネルギー政策課題について提言。**
(2024年6月6日 第56回 総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会)

■ 国際標準化、ルールメイキング

CoC : Chain of Custody

- マスバランス方式/CoCガイドライン策定（鉄連-高炉3社、worldsteel）
 - ✓ 鉄連ガイドライン策定（2023.10）、worldsteel 基本原則合意（2024.4）
- GHGプロトコル改訂に向けた活動
- マスバランス方式/CoCに関するISO化への取り組み

■ 需要創出に向けた取り組み

- JGreeX®供給開始（2023.6）
 - ✓ 造船、建築、電磁等、6分野で採用済
- GXリーグ等での民間調達の削減実績量ルール化への取り組み
 - ✓ GXリーグWG 提言書（2023.12）、METI-GX製品市場研究会 中間整理（2024.3）
 - ✓ 経産省グリーン鉄研究会にオブザーバー参加（2024.10）

JFEグループの電磁鋼板戦略

JFE

➤ 世界最高クラスの技術力とグローバル・サプライチェーンにより、拡大する需要を捕捉。

方向性電磁鋼板 (GO)

無方向性電磁鋼板 (NO)

製品概要



- 電気機器の鉄芯材料として使用される機能材料
- 各種機器の高効率化、小型化、軽量化に貢献



主な用途

- 電力・配電用等の変圧器



- EVや電気機器等のモーターや発電機



主な販売先

- 重電メーカー

- 自動車、自動車部品、家電、産業機械等のメーカー

製造拠点

- 倉敷地区
- JSW社とインドでの電磁鋼板合弁会社を設立(2024/2)
- **欧州thyssenkrupp社とインド電磁鋼板子会社の株式譲渡契約を締結(2024/10)**

- 倉敷地区、京浜地区
- 倉敷地区で高級NOの能力増強
- **I期 : 2024年9月工程生産開始**
- II期 : 2026年度

当社の強み

- GOやNOの生産における世界トップクラスの技術力
- グローバルに展開しているサプライネットワーク (日本、中国、ASEAN、米州、欧州)

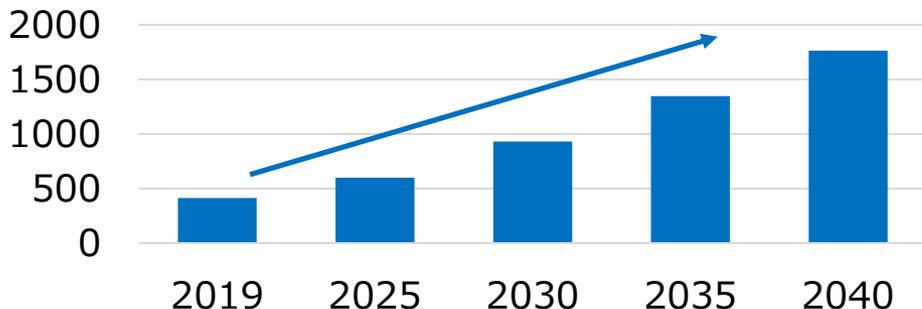
方向性電磁鋼板 – インド市場の動向と当社技術対応



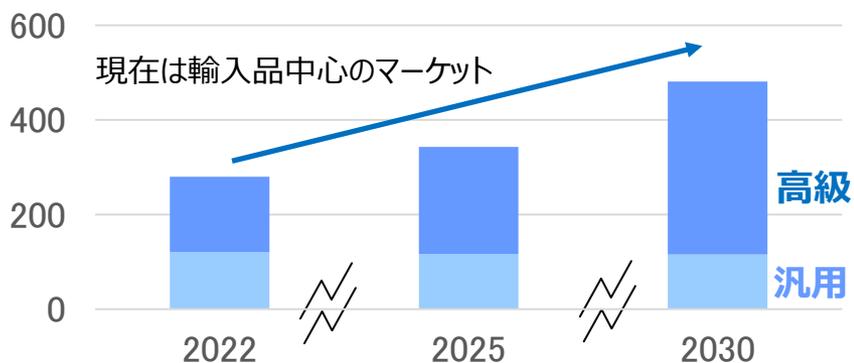
- インドの発電能力は7%/年で成長。変圧器に使用される**方向性電磁鋼板需要も同等の成長**を見通す。
- インド政府による高効率化規制で**政府PJの変圧器は高級方向性電磁鋼板を主に使用**。
- 当社は、要求の高度化するインド市場へ、独自技術にて対応。

インドの発電能力見通しとGO市場の規模想定

インドの発電能力見通し (GW) ※1

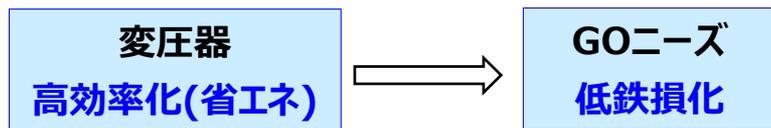


インドの変圧器用GO市場の規模想定 (千t) ※2

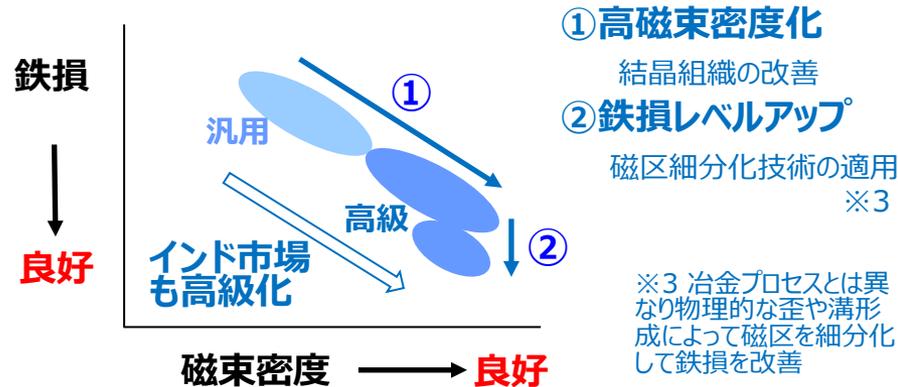


※1 IEA India Energy Outlook 2021
 ※2 World Energy Outlookを元に当社推定

GOへの要求性能



GOの低鉄損化



✓ 当社は、これまで国内で積み上げてきた独自技術を適用することにより、インド市場においても高級化ニーズを充足

無方向性電磁鋼板 – 拡大する需要と当社の技術優位性

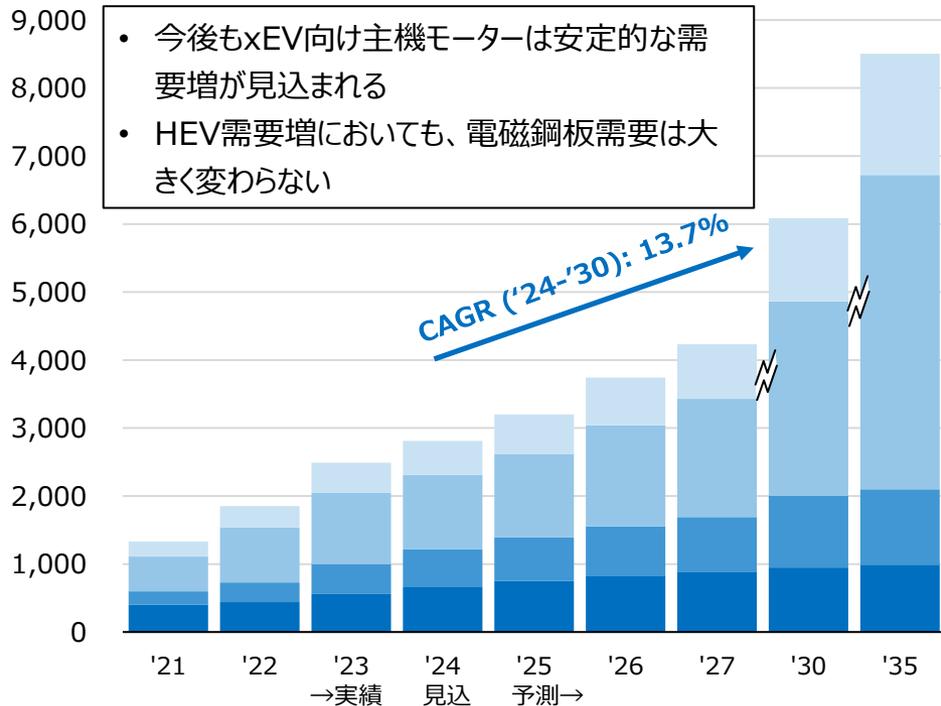


- 高級無方向性電磁鋼板の需要は、xEV市場の成長とともに継続して拡大する見通し。
- 高級無方向性電磁鋼板の要求性能に、当社は独自技術で対応。

xEV向け主機モータの生産台数見通し*1

グローバル見通し (万個)

■ HEV向け ■ PHEV向け ■ EV向け ■ FCV向け ■ その他



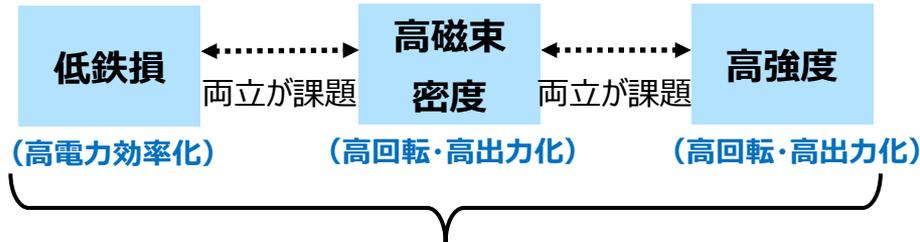
- 今後もxEV向け主機モーターは安定的な需要増が見込まれる
- HEV需要増においても、電磁鋼板需要は大きく変わらない

xEV主機モータのねらい

高電力効率化
⇒航続距離増・電池削減

高回転・高出力化
⇒小型化・軽量化

高級NOへの要求性能



✓ 当社独自技術の適用により、すべての要求性能に対して高次元で両立することで、世界最高クラスの実現 (トップグレードNO)

出典：富士経済

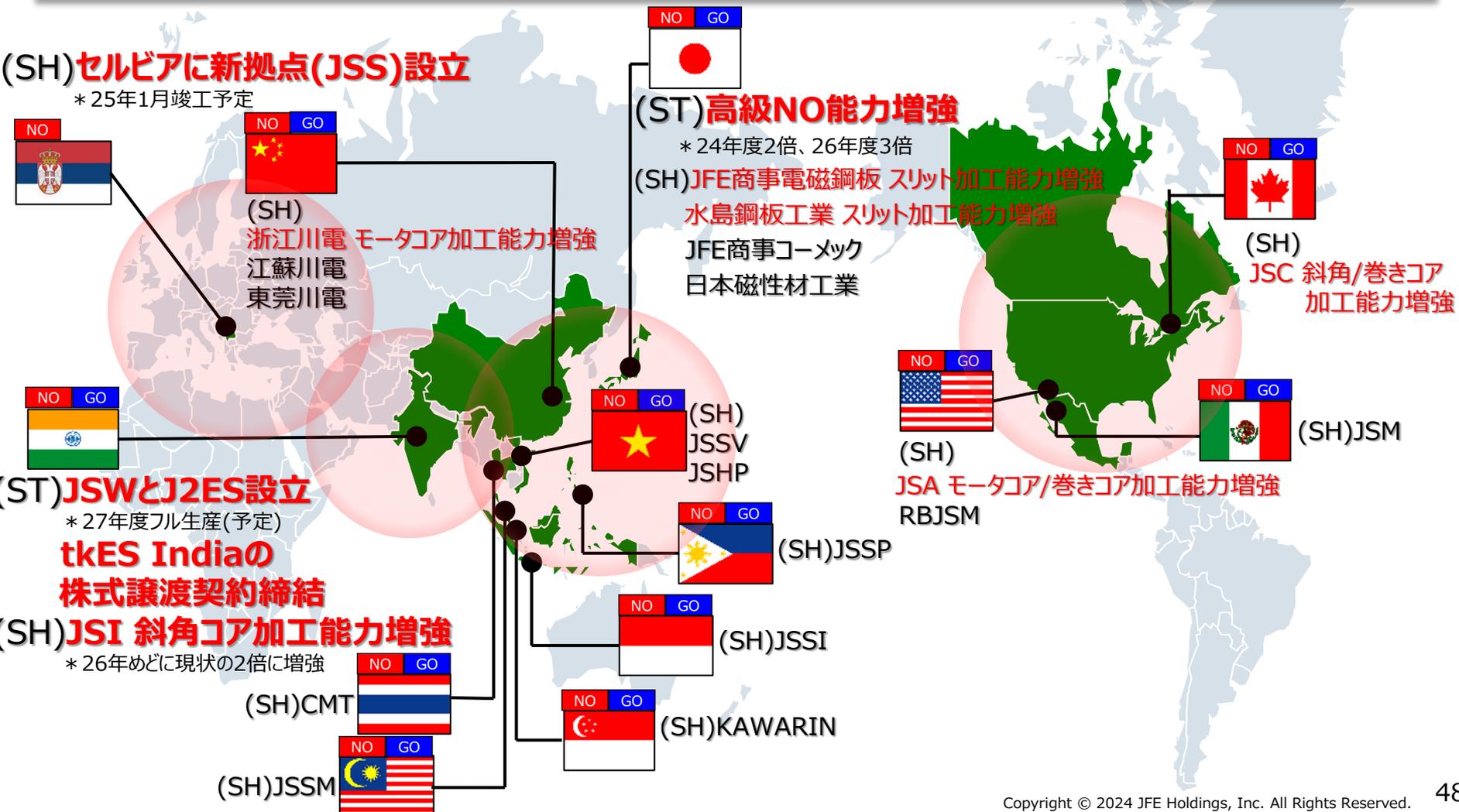
*1 富士経済「2024年版 HEV、EV関連市場徹底分析調査」、HEV: Hybrid Electric Vehicles, PHEV: Plug-in Hybrid Electric Vehicles, EV: Electric Vehicles, FCV: Fuel Cell Vehicles

*2 Motors for AWD assist and generator

電磁鋼板のグローバルサプライチェーン展開

JFE

- ✓ JFEスチールとJFE商事のシナジーにより、グローバルサプライチェーンを構築。
- ✓ 電磁鋼板需要拡大を見込む国、地域への投資を加速。





JFEエンジニアリング 受注内容

JFE

(億円)

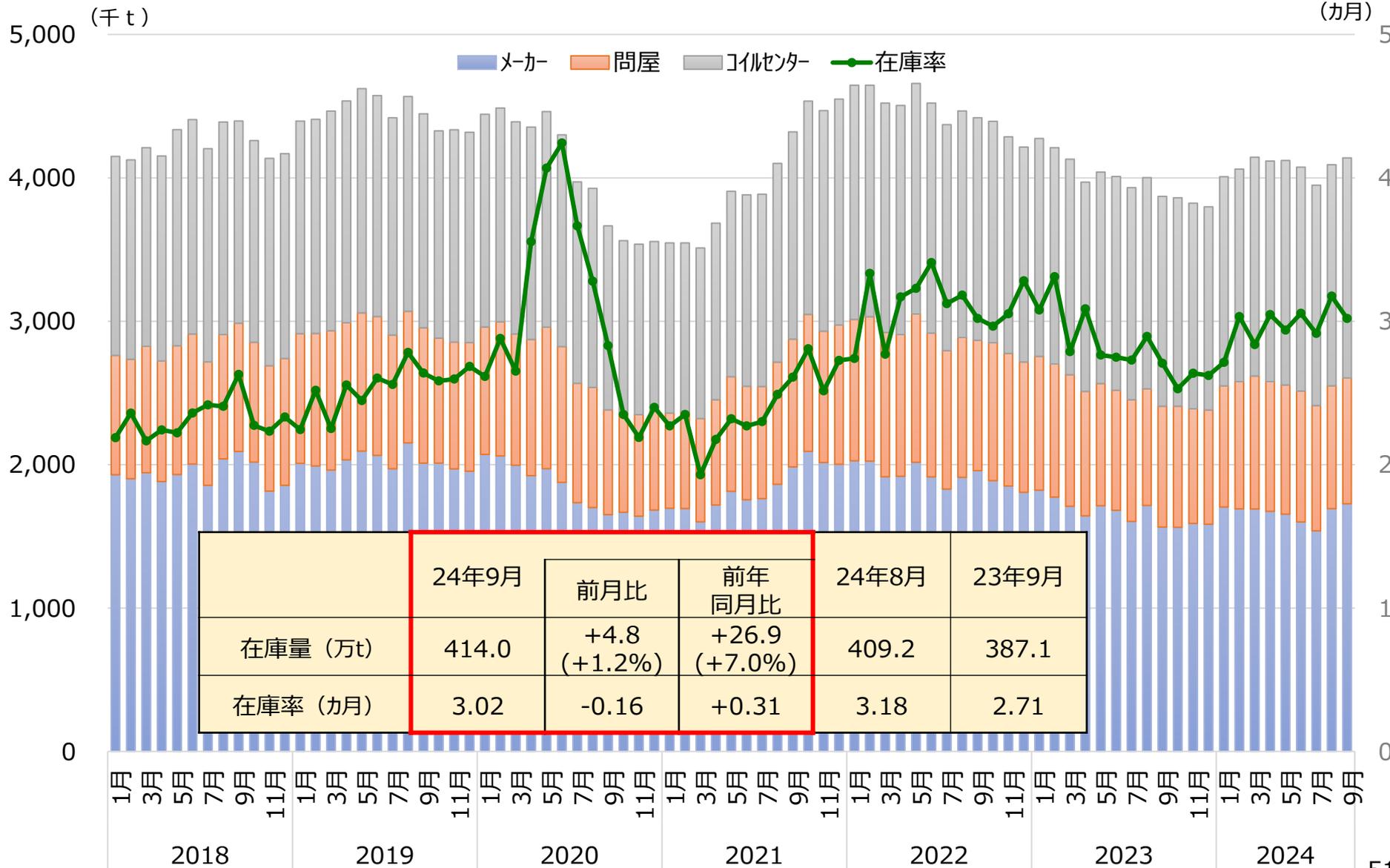
分野	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減	2024年度 上期 主な受注内容 ★…第2四半期 新規・追加受注案件
Waste to Resource	2,437	2,550	113	国内廃棄物処理施設 更新工事[神奈川] 海外廃棄物処理施設 新設工事[★台湾]
カーボン ニュートラル	543	600	57	
複合 ユーティリティ サービス	156	90	▲66	
基幹 インフラ	2,494	2,760	266	国内橋梁新設（京奈和自動車道[奈良]、 臨港道路[神奈川]、舞鶴若狭自動車道[京都]） 海外橋梁新設[★ニカラグア] 国内水道管路更新事業[兵庫]
受注高 合計	5,630	6,000	370	
受注残高	6,138	9,700	3,562	

※2024年度見通しは、長期O&M契約の受注計上方法を変更後の数値で記載しています。

参考資料② 事業環境指標他

国内販売環境

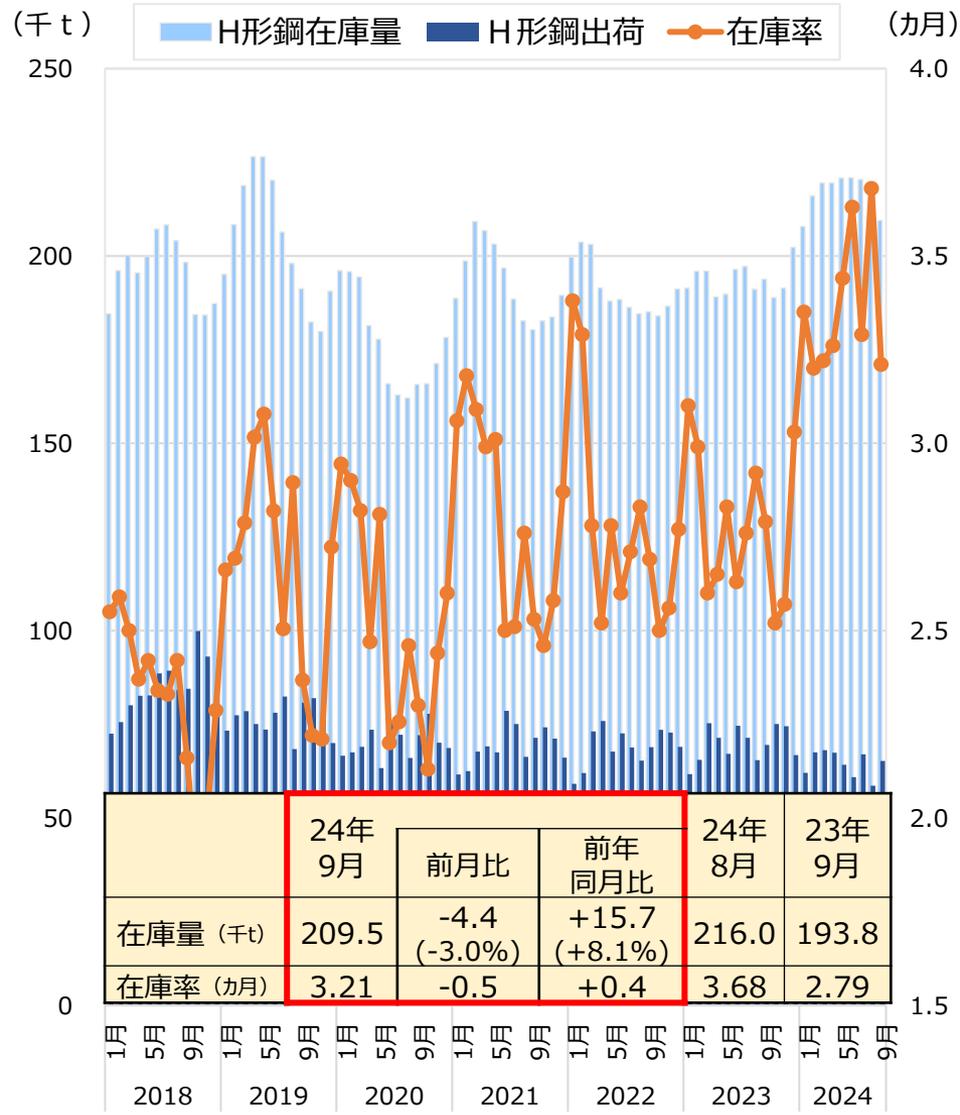
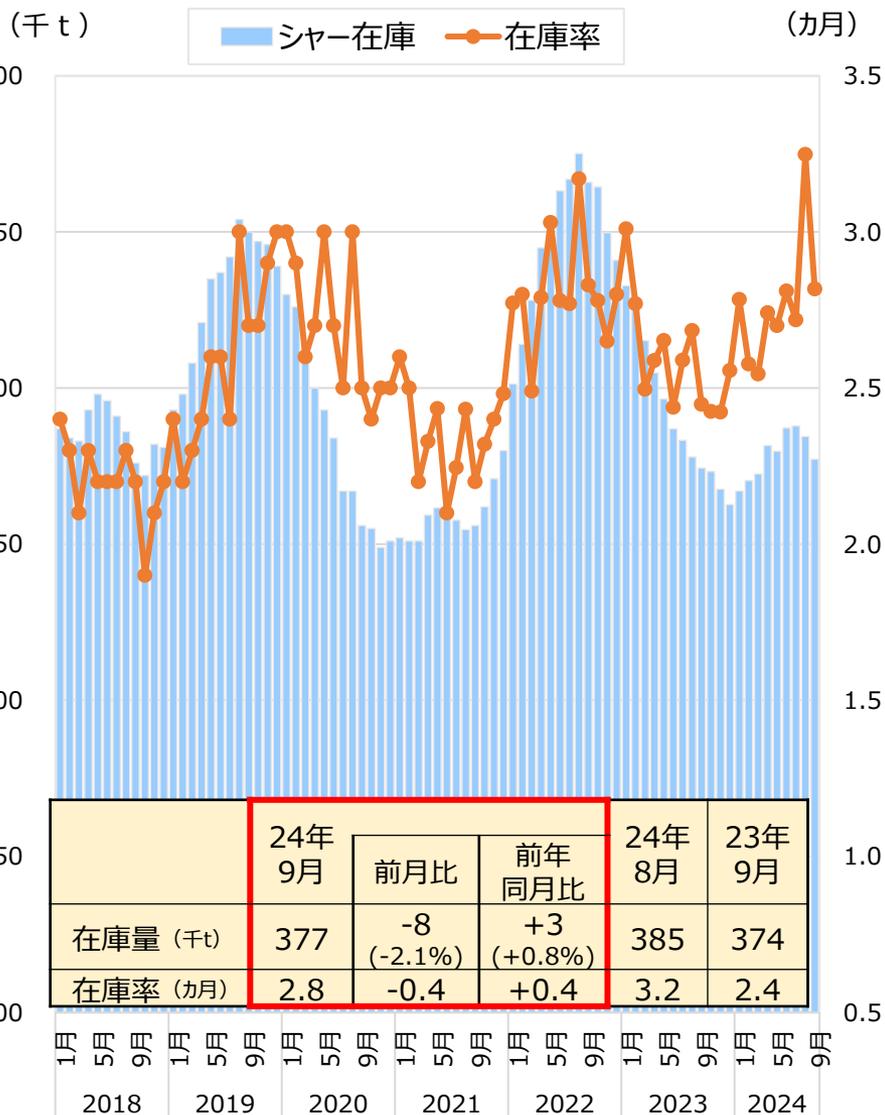
薄板 3 品在庫



	24年9月	前月比	前年同月比	24年8月	23年9月
在庫量 (万t)	414.0	+4.8 (+1.2%)	+26.9 (+7.0%)	409.2	387.1
在庫率 (ヵ月)	3.02	-0.16	+0.31	3.18	2.71

国内販売環境

厚板シャー・H形鋼在庫



国内販売環境

輸入鋼材（普通鋼/国別）

JFE

(千t)

600

■ 韓国 ■ 中国 ■ 台湾 ■ その他

500

400

300

200

100

0



	24年9月	前月比	前年同月比	24年8月	23年9月
輸入鋼材 (千t)	442	+100 (+29.3%)	+41 (+10.1%)	342	401

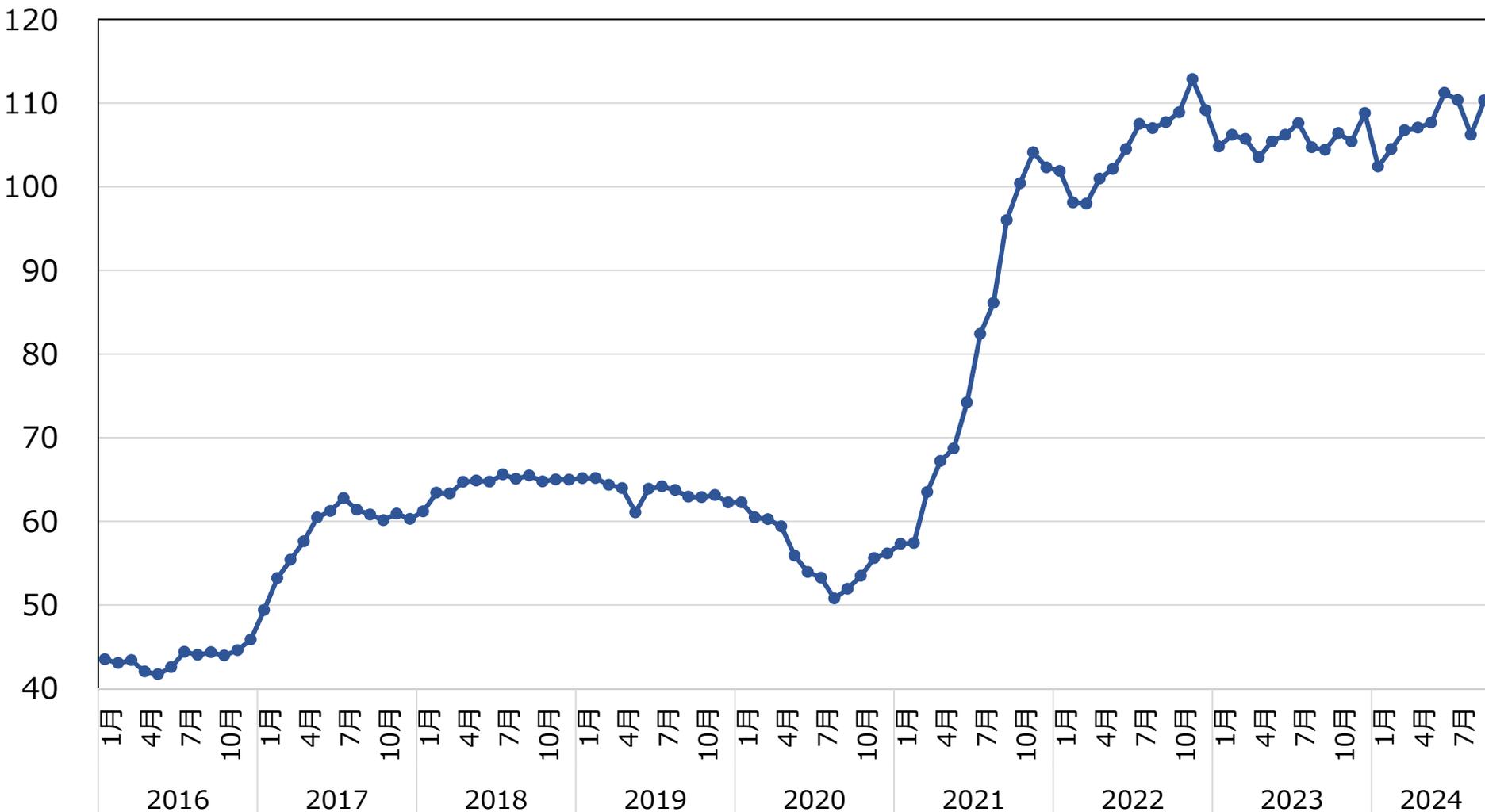


国内販売環境

輸入鋼材価格

JFE

(千円/t)



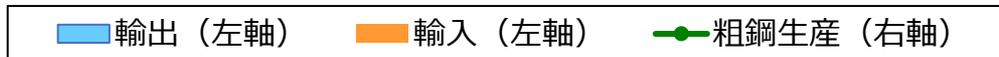
日本鉄鋼連盟データより作成 (韓国から輸入の熱延広幅帯鋼)

海外販売環境

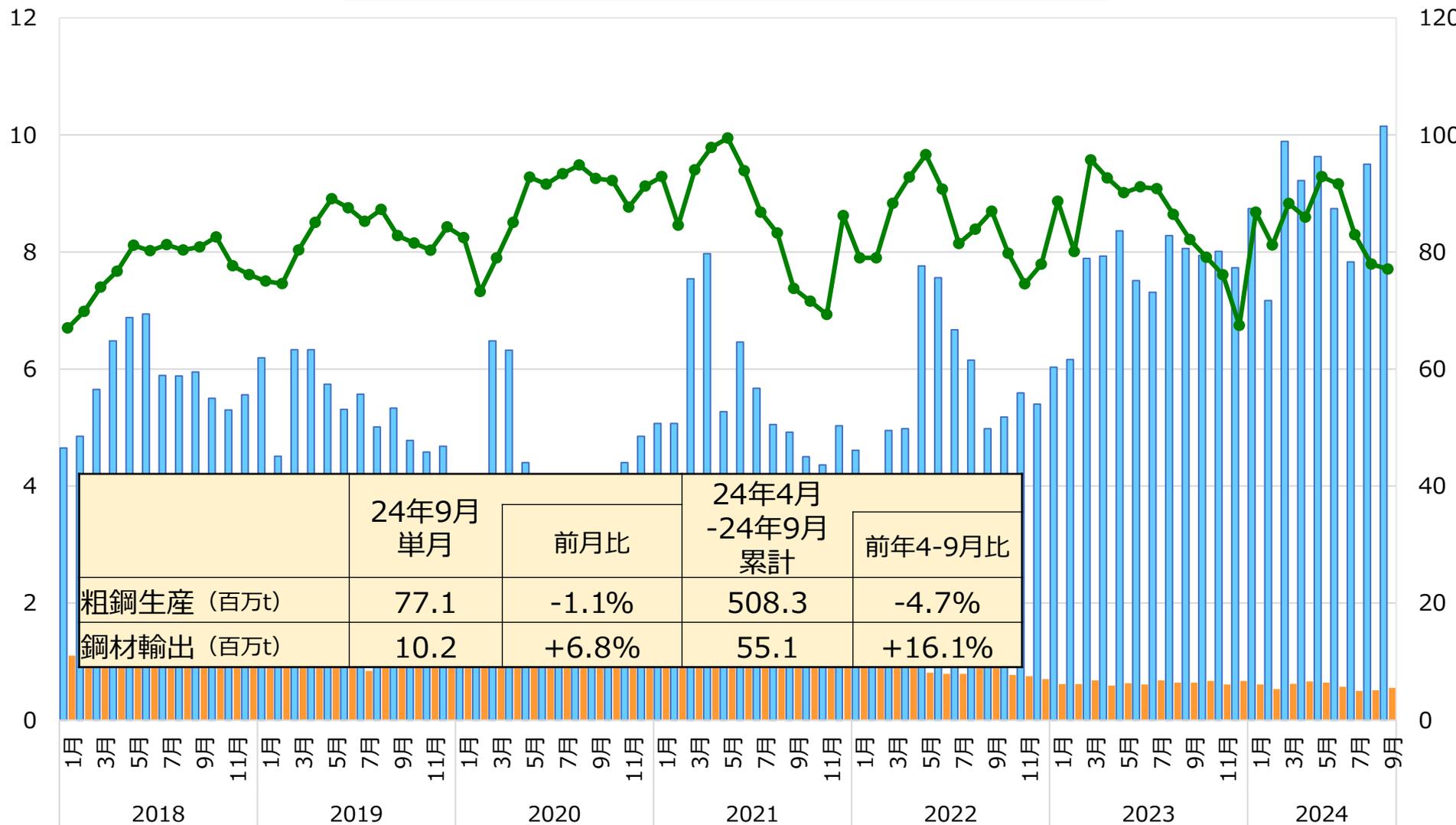
中国粗鋼生産・輸出入



(百万 t)

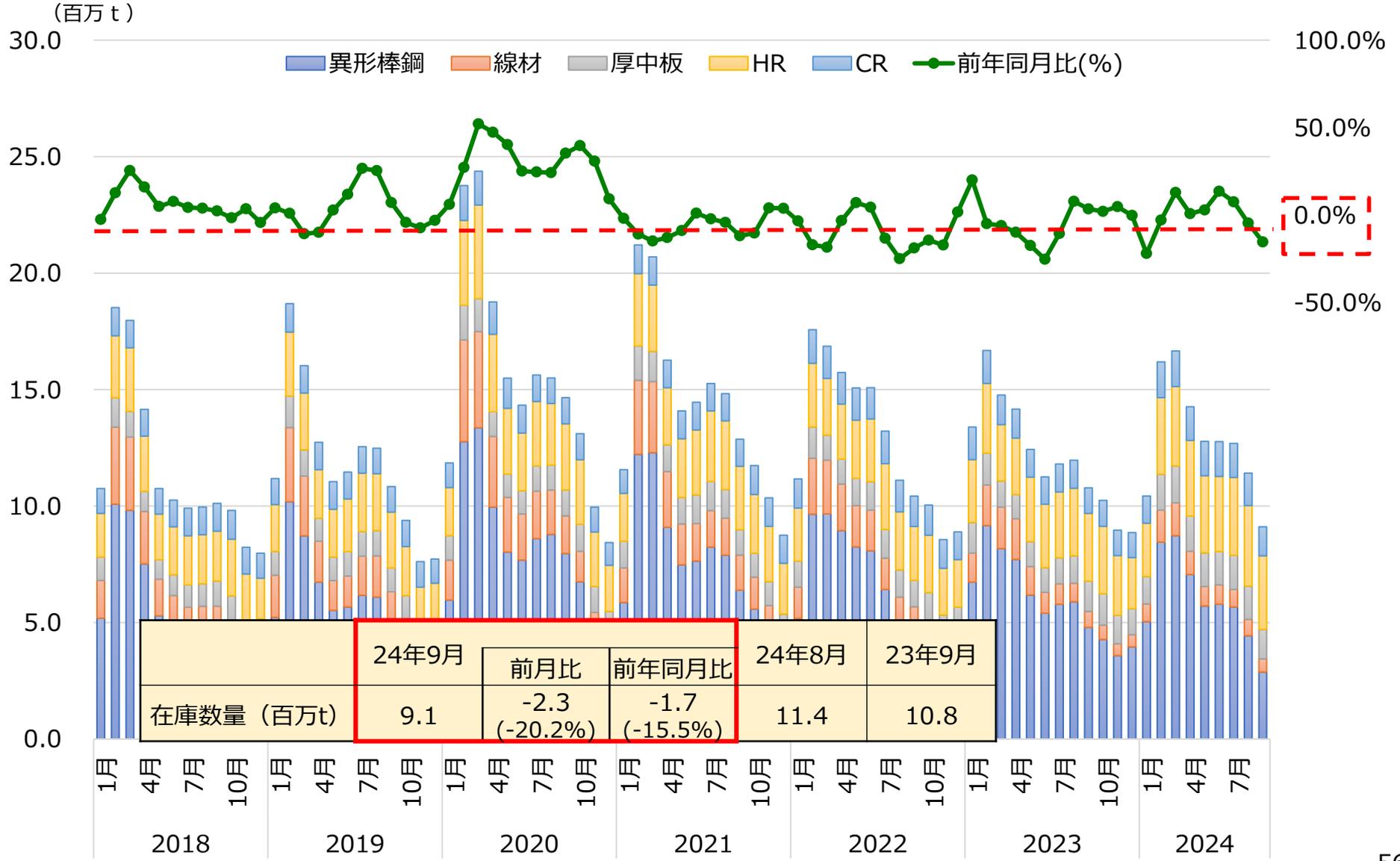


(百万 t)



海外販売環境

中国品種別在庫数量



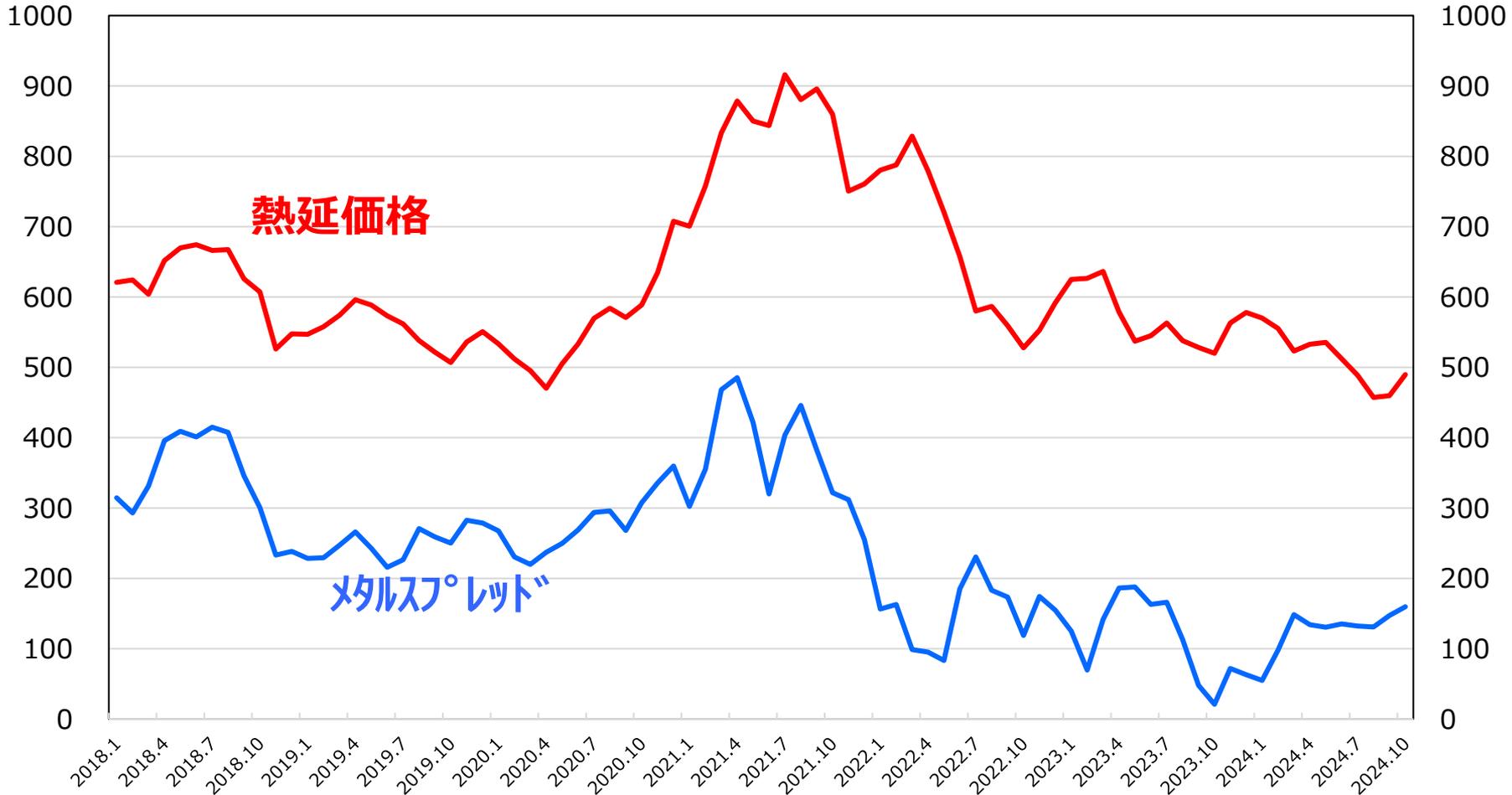


海外販売環境

(中国スポットベース)
メタルスプレッド

(\$/t)

(\$/t)



メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

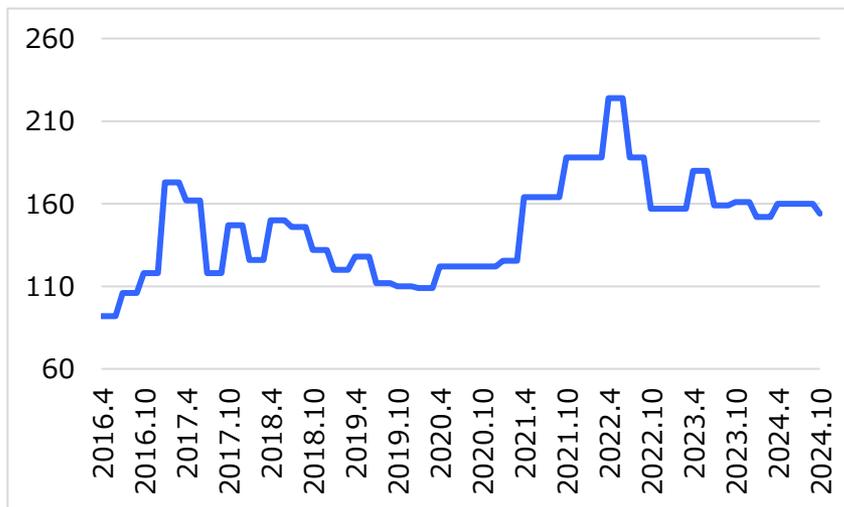
※熱延価格：中国5都市平均価格、主原料コスト：粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

原料

金属市況推移



(¢/lb) フェロクロム



(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン



(US\$/lb) モリブデン



原料

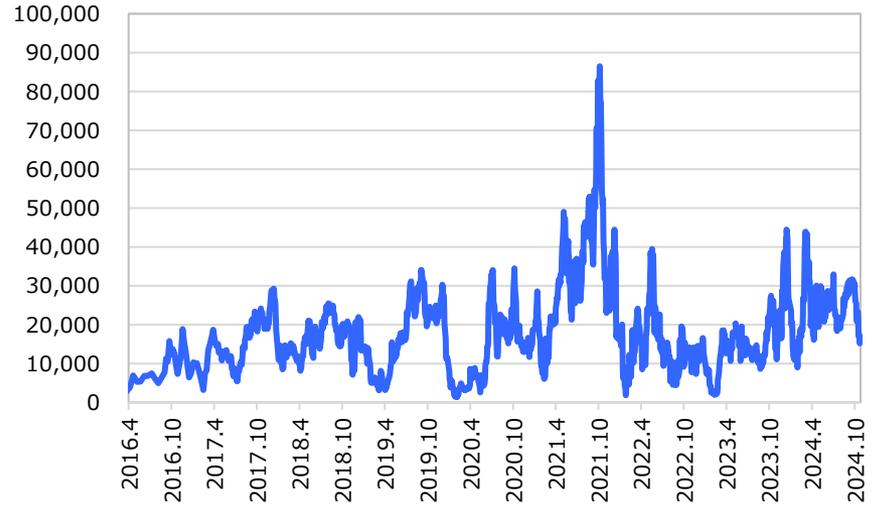
その他市況推移



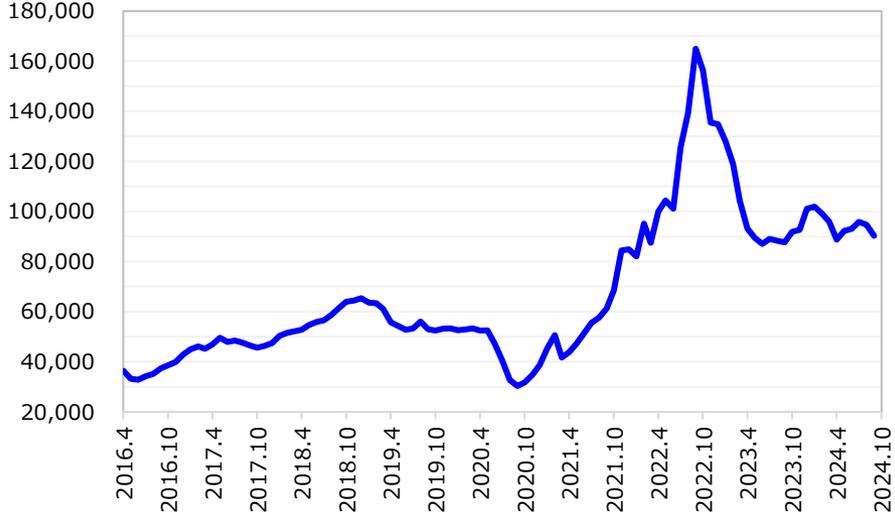
(円/t) スクラップ市況



(\$/B) スポット備船市況



(円/t) LNG市況



原油・バンカー市況



2024年度発行資料 リンク集



JFE

資料名	URL	QRコード
JFEグループレポート 2024 (統合報告書)	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/group-report/index.html	
サステナビリティ報告書 2024	www.jfe-holdings.co.jp/sustainability/index.html	
サステナビリティ報告書 2024 環境データ集	https://www.jfe-holdings.co.jp/common/pdf/sustainability/data/2024/2024_07_01.pdf	
DXレポート 2023	https://www.jfe-holdings.co.jp/investor/library/dxreport/index.html	



JFE

Copyright © 2024 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい